事務事業コート
 026200
 重点施策
 しごとづくり
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 気高道の駅(仮称)整備事業
 所属名
 都市整備部 都市企画課

	-				
1		基	本	情	報

(どうするのか)

位 総	体系区分	コード		名 称			区分
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度
づ凹	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実		根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度		
目無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 道の駅「西いなば気楽里」整備事業費			,		予算事業コード	01-07-01-01-32-01

 2. 事業目的【PLAN】

 本市で3か所目となる道の駅

 対象 (何を、誰を)

 鳥取西道路開通を契機として、鳥取市西地域に道の駅を整備する。

 意図 (どのような状態にするために)

 整備を進める

 手段

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	別計画	①基本設計の策定	●建築実施設計の策定②造成工事③用地買収	①建築工事 ②外構等工事		
<u> </u>	年度	別実績	①基本設計を策定	①建築実施設計の策定②造成工事③用地買収			
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	責(A+B)	53,303	275,932	0	0	0
事	直接	経費 A	24,427	246,656	0	0	0
業	古拉奴	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	10,300	176,300	0	0	0
	源内訳	その他	6,573	60,976	0	0	0
		一般財源	7,554	9,380	0	0	0
	人化	牛費 B	28,876		0	0	0
朏	員数の	正規職員	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00
	内部 嘴花椒豆		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1 '	, u/ \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		道の駅整備事業	業務	目標	6	3	3	0	0
	1		未伤	実績	6	3	0	0	0
`~		(指標の説明)整備完了(平成31年度	E)までに	こ必要な	業務数により、	進捗度を把握			
活動	2			目標	0	0	0	0	0
指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
INA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)	•	•					

5. 平原	뷫29年度の事務事業実放				取り組みを具体	的に記入(ア昇	-争伤争未の争:	未似安と理判)
		【問合せ	先】都市計画	可係 0857-20-3	3272			_
		【10次	総の施策体系	4201				
			上の経過】 業別概要目次		P 1 8 0 (都 P 1 8 (都 0			
			道路の全線開				地に、平成30 」の整備を行う	
事務事業の実施概要 事務事業の実施概要 事務事業の実施概要 事務事業の実施概要 用機会の創出に行った。 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型				の両方の性格を ずる。 本道の いる。 との は、 でいまる。 は、 でいまる。 は、 は、 は	学供せ持つ施設では鳥では鳥で流れ、防雨からなる。 は交流が、防寒がは、防寒がいた。 はないないないないない。 はないないないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないないない。 はないないない。 はないないないない。 はないないないない。 はないないないないないないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	整備とし、鳥野地域の観光振り、泉野地域を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を	取市西地域のに 興、市市西地域のに 興、市大場とはその活動、木質場、大きないでは でいいでは、大きないでは、 いいでは、 いいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 とった。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 と。 とっと。 とっと。 と	ごぎわいと 記述 地域 用いた マップ は で は で 大 で で 大 で で 大 で 行 発 で 所 発 す る
			課題・方向性 1年春のオー	生】 -プンを目指す	- 0			
		※ その	他財源の諸収	ス入は、鳥取県	負担金。 ————————————————————————————————————			
G 活重	助指標の達成率 【CHE	OK1						
Ŭ. / <u>□</u> ≠/		.CK』 指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指 1	道の駅整備事業			100%		1 179	1 124	1 //
標一	 							
達 2 成								
率 3								
	画【CHECK】 画項目と評価の視点 ┃	評価内			郭福明古(彭	平価の視点を踏	士ラで記る)	
		計画内 1. 計画を上			計测连田(計	FIWの税点で暗	まん(記人)	
牛	- 長計画の進捗度	■ 2. 計画どおり	IJ					
当該年度で	F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ 況となったか。	□ 3. 事業未完	7					
	- 1	□ 1. 目標を大幅						
	票の達成率【CHECK】より	□ 2. 目標を上[■ 3. 概ね目標。						
満:上回る」	: (大幅に工回る)、「101%~150%末 」、「80%~100%未満: 目標どおり」、 %未満: 下回ろ」「50%未満: 大幅に	□ 4. 目標を下[回る					
	が表現: 下回る。、、3070不過: 八幅に ・最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅	届に下回る					
8. 事業	美の成果を踏まえた今後 			77.100.46	14.4	· · · · · · · · ·		
8. 事業		■ 1. 拡充	■ 1	1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意图		
8. 事業	今後の方向性	■ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	■ 1 □ 1	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に自然増加	□ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図	
8. 事業	今後の方向性	■ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	■ 1 □ 1 □ 2	1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	に自然増加 の改善 、簡素化	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨年 □ 5-2 意図	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	
	今後の方向性	■ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	■ 1 □ 1 □ 2 □ 2 止、終了 □ 2	1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨 ⁴ □ 5-2 意图 □ 5-3 制度	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止

 事務事業コート
 026301
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 都市再生整備事業(青谷地区)
 所属名
 都市整備部
 都市企画課

-	#	╼	岐	ᆂᇋ
		м	十一	¥Μ

<u> </u>	- ` F T A						
位 総	体系区分	コード		名 称			区分
置合	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成26年度 ~ 平成30年度
総合計画	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目施 無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 都市	有再生整備	事業費(青谷地区)			予算事業コード	01-07-05-01-32-02

2. 事業目的【PLAN】

<u> 4. 争未日时</u>	
対象 (何を、誰を)	青谷地区
意図 (どのような状態 にするために)	生活基盤の整備や地域内の定住対策の促進などにより、賑わいと活力のある地域生活拠点の再生整備を計り、安心して暮らしやすいまちづくりを目指す。
手段 (どうするのか)	地域の課題や住民の意向を踏まえた都市再生整備計画を策定し、「社会資本整備総合交付金」などを活用し魅力ある居住環境を形成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争表の	<u> </u>	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の!	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①青谷中央広場整備事業(中央公民館解体工事) ②福井田川親水護岸整備工事 ③青谷駅前広場整備工事。 事に伴う測量設計業務	①青谷中央広場整備事 業(中央公民館講堂解 体工事) ②青谷駅前広場整備工 事	①青谷中央広場整備工事 ②青谷駅前広場整備工事 ③福井田川親水護岸整 備工事 ④排水ポンプ(増設) 整備工事	≪H30年度で完了≫	≪H30年度で完了≫
т П	年度	E別実績	①青谷中央広場整備事業(中央公民館解体工事) ②福井田川親水護岸整備工事 ③青谷駅前広場整備工事に伴う測量設計業務	①青谷中央広場整備工 事(中央公民館講堂解 体工事)			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	62,380	47,921	0	0	0
事	直接	経費 A	55,305	40,748	0	0	0
業	±+±4 ∨	国・県	17,799	16,035	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	36,100	24,400	0	0	0
ĺ	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,406	313	0	0	0
	人们	牛費 B	7,075	7,173	0	0	0
膱	員数の	正規職員	0.98	0.98	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ι ΄		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		青谷駅前整備事業	業務	目標	1	1	1	0	0	
	1		未伤	実績	1	0	0	0	0	
,_		指標の説明) 整備完了までに必要な業務数により、進捗度を把握								
活動	2	青谷中央広場整備事業	業務	目標	1	1	1	0	0	
動指			未物	実績	1	1	0	0	0	
標		(指標の説明) 整備完了までに必要な業務数により、進捗度を把握								
1730				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)			•		•	•		

		(うら
5.	平成29年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
		【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272
		【10次総の施策体系】4201
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P183(都007)
	# 34 # # O C2 +C +UII #F	【事業の経過及び背景】 平成24年度より、地域生活拠点の再生を促進する方策を検討するために、学識経験者や住民の代表者により組織された委員会を行っている。平成25年12月に地域生活拠点再生整備計画(委員会提案)が作成され、その計画を基に平成26年3月に「都市再生整備計画(青谷地区)」を策定した。なお、第10次総合計画の重点施策として、「にぎわいにあふれ安心して暮らせる'まちづくり'」があり、本事業も重点施策の1事業として位置付けられている。 地域生活拠点の1つである「青谷地区」において、「都市再生整備計画(青谷地区)」に基づく生活基盤等の整備を進めることにより、中山間地域の暮らしを支え、安全で安心して暮らせる地域生活拠点の再生を図る。
		【事業の成果】 ○青谷中央広場(仮称)整備事業(青谷中央公民館(講堂)解体工事ほか) ○JR青谷駅前広場整備事業(青谷駅前バス待合所新築実施設計業務) 平成27年度 5,999千円 平成28年度 55,305千円 平成29年度 36,743千円 (翌年度繰越額 13,366千円 JR青谷駅前広場整備工事ほか)
		【今後の課題・方向性】 都市再生整備計画(青谷地区)に定めた計画事業を実施するため、事業完了年度となる 平成30年度に事業が完了するよう。 着実に事業を推進する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指揮	1	青谷駅前整備事業	100%	0%			
標達成	2	青谷中央広場整備事業	100%	100%			
率	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	関係機関との協議に時間を要したため
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%は上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る□ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る■ 5. 目標を大幅に下回る	関係機関との協議に時間を要したため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
---------------------	----------

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図	図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度	度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段	段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率	率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他導	事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	関係機関との協議が整ったので、	次年度は事業完了を	目指し工事進捗を図る。		
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的					
な成果と、今後の改善プランを記載)					

 事務事業コート
 026302
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 都市再生整備事業(気高地区)
 所属名
 都市整備部
 都市企画課

1	其	木	恄	報

<u> </u>	TTIFTK							
位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分		
置合置計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度	
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活理	環境づくり		根拠法令、		
17 D	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000		
担無無			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備	
標の	公共下水道普及率	Š		77.2人	78.5人	運営方法	直営	
0)					0	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 都市	有再生整備	事業費(気高地区)			予算事業コード	01-07-05-01-32-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高地区
意図 (どのような状態 にするために)	生活基盤の整備や地域内の定住対策の促進などにより、賑わいと活力のある地域生活拠点の再生整備を計り、安心して暮らしやすいまちづくりを目指す。
手段 (どうするのか)	地域の課題や住民の意向を踏まえた都市再生整備計画を策定し、「社会資本整備総合交付金」などを活用し魅力ある居住環境を形成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①気高駅前広場整備事 業に伴う測量設計業務	①気高駅前広場整備事 業	①気高駅前広場整備事業	①気高駅前広場整備事業	①気高駅前広場整備事業
ţr	年度	E別実績	①気高駅前広場整備事 業に伴う測量設計業務	①気高駅前広場整備事業(未完了)			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	8,030	8,772	0	0	0
事	直接	経費 A	2,977	1,599	0	0	0
業	直接経	国・県	1,200	659	0	0	0
業費	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	1,600	800	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	177	140	0	0	0
	人作	牛費 B	5,053	7,173	0	0	0
贈	員数の	正規職員	0.70	0.98	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	par 1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		気高駅前整備事業	業務	目標	1	1	1	1	1
	1		未伤	実績	1	1	0	0	0
٠,-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

								(うら)
5.	平原	뷫29年度の事務事業実施概要				的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
				系】 4201 次 : 当初予算・ 、地域生活れた。 り提案)定ま を策る で整備を で整備を のの整備を のの整備を	183(都0 原の再生を促進 受員会をその計 がおり、」があり があり、」により、 でことにより、	する方策を検いる。平成2 を基に平成2 を基に平成2 合計画の重点、 、本事業も重 で、「都市再	7年3月に地域 8年3月に「者 施策として、 点施策の1事等 生整備計画(タ	或生活拠点再 都市再生整備 「にぎわいに として位置 気高地区)」
事務事業の実施概要 に基づく生活基盤等の整備を進めることにより、中山間地域の暮らしを支え、安して暮らせる地域生活拠点の再生を図る。 【事業の成果】 ○ J R 浜村駅前広場整備事業(浜村駅南側停車場整備に伴う測量設計業務) 平成28年度 2,977千円 平成29年度 1,599千円 (翌年度繰越額 61,610千円 J R 浜村駅前広場整備工事ほか) 【今後の課題・方向性】 都市再生整備計画(気高地区)に定めた計画事業を実施するため、事業完了年平成32年度を目指し着実に事業を推進する。								
6.	活重	助指標の達成率【CHECK】						
\vdash	1	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	NAME OF THE PROPERTY OF THE PR		100%	100%			
標達成	2							
率	3							

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	関係機関との協議に時間を要したため
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%未満: 目標どおり」、 「50%~ 80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指揮で評価	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
----	------------------	----------

	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	関係機関との協議が整ったので、	次年度は事業の	の進捗を図る。		
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)					
な以木C、7 後の以告ノブを記載)					

 事務事業コート
 026400
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 道路管理事業
 所属名
 都市整備部 道路課

1	其	木	恄	報

<u> </u>	IH TK							
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度	
づ闘	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、		
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等		
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	化灰山四寸		
目施 無策		11.14.	(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	施設管理	
標の	公共下水道普及率	Š		77.2人	78.5人	運営方法	直営	
٥٫				0	0	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 道路	予算事業名 道路管理費				予算事業コード	01-07-02-02-02-01	

2. 事業目的【PLAN】

<u> 2. 争未日时</u>	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市道利用者、地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	市道の安全な通行を確保するため
手段 (どうするのか)	定期的な道路パトロール、道路および道路施設等の損傷個所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、冠水対策施設の維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を行う

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	ナネツ	学来の中度別計画・美積【PLAN・DO】									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容			①道路パトロール ②道路施設等の損傷個 所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個 所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個 所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路ペトロール ②道路総設等の損傷個 所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修				
т П	年度	E別実績	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個 所の修繕 ③市道治線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修	①道路パトロール ②道路施設等の損傷個 所の修繕 ③市道沿線の除草 ④植栽の剪定管理 ⑤冠水対策施設の維持 管理 ⑥側溝浚渫 ⑦街路灯の補修							
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業領	貴(A+B)	472,907	482,216	0	0	0				
毒	直接	経費 A	264,775	269,066	0	0	0				
事業	国・県		0	0	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
l^	源内訳	その他	54,255	65,645	0	0	0				
		一般財源	210,520	203,421	0	0	0				
	人	牛費 B	208,132	213,150	0	0	0				
曲	員数の	正規職員	28.00	28.00	0.00	0.00	0.00				
	貝奴の 内訳	嘱託職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00				
Ι '	1. 11/C	臨時職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		市道実延長	m	目標	1672126	1673894	1673894	1673894	1673894
	1			実績	1672126	1673894	0	0	0
,_	(指標の説明) 鳥取市が管理する市道の距離								
活動		橋梁数	本	目標	1368	1368	1368	1368	1368
指	2			実績	1368	1368	0	0	0
標		(指標の説明) 鳥取市が管理する橋の)数						
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

		(づら
5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	【問合せ先】管理係、 【10次総の施策体系	維持第一係、維持第二係 0857-20-3261、3262、3263 3】4201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	(: 当初予算・P196(都034)6月補正予算・P20(都006)9月補正予算・P27(都004)11月臨時補正予算・P7(都003)
	【事業の概要】 道路及び道路施設等	らの維持作業、損傷箇所の修繕を行い、市道を適切に管理する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	栽の剪定管理、関連施	ール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕、市道沿線の除草、植設(鳥取駅広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等)の維持管理、冠側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者等委託、資材支給等
	平成27年度 28 平成28年度 26 平成29年度 26	4,775千円
	【今後の課題・方向性 管理すべき道路施設 施設の老朽化による修	- この増加により光熱水費、延長の増加による除草等の維持管理経費、
	※その他財源の使用 ※その他財源の手数 ※その他財源の諸収	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	市道実延長	100%	100%			
標達成	2	橋梁数	100%	100%			
率	3						

7. 評価【CHECK

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
---------------------	----------

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	管理すべき道路施設の増加により	、光熱水費・除草等の維持管理費、施設の老村	5円による修繕費が増加している。
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 026500
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 一般道補修事業
 所属名
 都市整備部 道路課

1	其	木	恄	報

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	央適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
けめ	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目施 目策	安全、迅速に移動できる	幹線道路整備	(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率		77.2人	78.5人	運営方法	直営	
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 一角	设道補修費				予算事業コード	01-07-02-02-03-01

2 事業目的【PI AN】

<u> 4. 事未口叫</u>	(FLAN)
対象 (何を、誰を)	市道利用者、地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	路面損傷個所の補修並びに地域からの要望による道路修繕を行い、通行者の安全を確保するため
手段 (どうするのか)	路面損傷等による事故発生の可能性がある個所を緊急に補修対応するため、緊急修繕業務を年度当初に発注する とともに、地区要望(側溝改良、歩道改良、法面補修など)による道路の維持補修を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①地区要望(側溝改良 、歩道改良 法面補修 など)による道路の維 持補修	①地区要望(側溝改良 、歩道改良、法面補修 など)による道路の維 持補修	①地区要望(側溝改良 、歩道改良、法面補修 など)による道路の維 持補修	①地区要望(側溝改良 、歩道改良 法面補修 など)による道路の維 持補修	①地区要望(側溝改良 、歩道改良、法面補修 など)による道路の維 持補修
į.	年度	E別実 績	①地区要望(側溝改良 、歩道改良、法面補修 など)による道路の維 持補修	①地区要望(側溝改良 、歩道改良、法面補修 など)による道路の維 持補修			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	166,262	174,867	0	0	0
事	直接	経費 A	159,043	167,548	0	0	0
業	直接経	国・県	2,919	0	0	0	0
費	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	11,700	11,400	0	0	0
	源内訳	その他	0	6,273	0	0	0
	<u> </u>	一般財源	144,424	149,875	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		対応件数	件	目標	31	36	0	0	0
	1		- ' '	実績	31	36	0	0	0
,т		(指標の説明)地区要望により対応した	た件数(地区要	望の数や対象と	なる事案の数に	こ変動があるたど	め目標設定値は	はなし)
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVA				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)				•	•	•	

_	亚什00年中の市改市世中	ケ畑 亜 【 D a 】	ツギケ中の	501402.+ 8 H	よんしーニココ / マ 公	まなま类のま	(う ら) **!!!! まきも	
5.	平成29年度の事務事業実施	他概要【DO】 【問合せ先】維持第				「事務事業の事 262 3263 32		
		【10次総の施策体 【予算計上の経過】 予算事業別概要目	系】4201 次:当初予算・	P197 (都	035)	321, 8288, 82		
		【事業の概要】 地域からの要望に	9月補正予算・P28(都005) 【事業の概要】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。					
		【事業の成果】 地区要望(側溝改	良、歩道改良、	法面補修など)による道路	工事を実施する	.	
	事務事業の実施概要	平成27年度 1 平成28年度 1 平成29年度 1	59, 043 1	-円				
		【今後の課題・方向 市道に関する要望 。また、件数も膨大	苦情が多種多			軟な対応が求め	りられている	
		※その他財源の諸	※その他財源の諸収入は、東部広域負担金及び下水道マンホール蓋取替負担金。					
6.	活動指標の達成率 【CHE	CK]						
	1	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指	対応件数 1		100%	100%				
標達	2							
成 率	3							
<u> </u>	5T/T		<u> </u>					
<u>/·</u>	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 】	評価内容		評価理由(影	平価の視点を踏	まえて記入)		
	年度計画の進捗度	評価理由(評価の視点を踏まえて記入) 地区要望のうち可能なものについては順次対応している。(市の管理対象						
**								
	事事())以事	□ 1. 目標を大幅に上回る						
	動指標の達成率【CHECK】より	■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり						
満:」	%以工: 大幅に工回る」、「101%~150%末 :回る」、「80%~100%未満: 目標どおり」、 6~ 80%未満・下回る」 「50%未満・大幅に	□ 4.目標を下回る						
	る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る						

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 ■ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小 ■ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 今後の方向性 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-2 意図的に廃止 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 市道に関する要望・苦情が多種多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、地元調整等が進まない 箇所等もあり、重要度、危険度等で、優先順位を明確にする必要がある。 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)

 事務事業コート
 026600
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 社会資本整備総合交付金事業
 所属名
 都市整備部 道路課

•	ŧ	ł	#	± F	5
1	悬	$\mathbf{\Lambda}$	竹吉	Ψh	ā

	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施 世策			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率		77.2人	78.5人	運営方法	直営	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 社会	合資本整備	総合交付金事業費			予算事業コード	01-07-02-03-05-06

2 事業目的【PLAN】

2. 争耒日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	社会資本整備総合交付金による市道整備
意図 (どのような状態 にするために)	集落間を結ぶ生活に密着した道路である市道を利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整えるため、改良、舗装補修、側溝修繕等を行う
手段 (どうするのか)	交付金等を活用し道路整備を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	争表の	<u> </u>	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	- 度別の取り組みを間潔に記入	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度	E別計画	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拡幅工事	①社会資本整備総合交 付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・拉幅工事	
	年度	E別実 績	①社会資本整備総合交付金による市道整備 ・道路新設・改良 ・近幅工事 《実績》 河原インター山手線ほか15路線	①社会資本整備総合交付金による市道整備・道路新設・改良・近幅工事 《実績》 河原インター山手線ほかり9路線				
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費	貴(A+B)	647,559	455,447	0	0	0	
事	直接	経費 A	611,464	418,852	0	0	0	
業	±+÷ 4▽	国・県	238,175	220,980	0	0	0	
費	直接経 費の財	地方債	354,436	186,685	0	0	0	
_	源内訳	その他	0	310	0	0	0	
		一般財源	18,853	10,877	0	0	0	
	人作	牛費 B	36,095	36,595	0	0	0	
中	員数の	正規職員	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	r 1μ/ζ	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		施工路線数	箇所	目標	24	11	11	0	0
	1		回り	実績	16	10	0	0	0
·-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	
事務事業の実施概要	【DO】 【問合せ先】新設改【10次総の施策体】 予算計上の経過要 「事業別概を図明である。」 事業では、10次総の施策体。 「事業別では、10次総のを図明である。」 「事業を図明である。」 「事業を図明である。」 「事業を図明である。」 「事業を図明である。」 「ないまする。」 「ないままする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ない	良係 0857-20-3 A 201 次: 4201 次: 4201 次: 4201 次: 6月 し安 道路 740 大全 道路 740 740 740 740 740 740 740 740	P 1 9 8 (都 算・P 2 1 (である市道の 適な道路環境 ら) (交付率 6 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円 ・円	5037) 都008) 新設改良を行 を整える。 6.7%、5	うことにより、 5 %、 5 0 %)	
6. 活動指標の達成率【CHECK】						
指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度

7. 評価【CHECK】

指標達成率 2

3

施工路線数

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%未満: 目標とおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」 ※最も達成度の低い指標で評価	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

67%

91%

8.	事業の成果を踏まえた今後の方向性	[ACTION]
----	------------------	----------

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	市民ニーズにこたえるため、社会	資本整備総合交付金を効率的に活用し、安心	・安全な道路を確保する。
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 026700
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 防災・安全交付金事業
 所属名
 都市整備部 道路課

4	#	-	ᆄ	土口

	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
けめ	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目施 目策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 防災	災•安全交付	十金事業費	金事業費			01-07-02-03-05-07

2. 事業目的【PLAN】

2. 事不日前	防災・安全交付金による市道整備
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	安全で安心できる生活空間の整備のため、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、安全で安心できる幅広い生活空間を創出する。
手段 (どうするのか)	交付金等を活用し道路整備を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	サ未い:	牛皮 加 司 巴	· 夫楨 【PLAN·DO】			※ 中皮別の	収り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①防災・安全交付金に よる市道整備 ・道路舗整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金に よる市道整備 ・道路舗装 ・適間溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金に よる市道整備 ・道路舗装 ・適間溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金に よる店舗装 ・側溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金に よる市道整備 ・道路舗装 ・側溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備
谷			①防災・安全交付金に よる产道整備 ・高路整備 ・橋梁設計 ・橋梁修 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備	①防災・安全交付金に よる产道整備 ・道路離裝 ・側溝整備 ・橋梁設計 ・橋梁修繕 ・道路施設長寿命化 ・通学路整備			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	619,428	868,498	0	0	0
事	直接	経費 A	573,864	822,312	0	0	0
業	古拉奴	国・県	294,976	440,304	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	254,064	358,215	0	0	0
l^	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	24,824	23,793	0	0	0
	人作	牛費 B	45,564	46,186	0	0	0
醅	員数の	正規職員	6.00	6.00	0.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		施工路線数	箇所	目標	40	44	52	0	0
	1		直の	実績	34	35	0	0	0
٠,-		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1730				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

	/p.c.)	w++++			「まなま类のま	ソウノ
5. 平成29年度の事務事業実施概要	【問合せ先】維持第		# · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		「事務事業の事	
	【10次総の施策体: 【10次総の施策体: 【予算計上の経過】 予算事業別概要目	系】4201			202, 3203, 32	94
		6月補正予 9月補正予	デ算・P 2 2 (デ算・P 2 9 (デ算・P 2 4	都009) 都007)		
	【事業の概要】 安全で安心できる。 、通学路などの歩道: 創出する。					
事務事業の実施概要	【事業の成果】 防災・安全交付金 桜土手通りほか3		5付率66.7	%、55%、	5 0 %)	
	平成27年度 4 平成28年度 5 平成29年度 6 翌年度繰越額 2	73, 864 1 75, 503 1	·円 ·円	号線ほか10	路線)	
	【今後の課題・方向を 交付金等を活用しま		まする。			
6. 活動指標の達成率【CHECK】						
指標名 施工路線数		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		85%	80%			

標 達 2 成 率 3

_7. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	国からの交付金が減ったため、今年度に行う予定の事業が完了しなかった。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	

<u>8. 事業の成果を踏まえた今後</u>	<u>後の方向性【ACTION】</u>				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	防災・安全交付金を効率的に活用し	ン、安心・安全	とな道路を確保する。		
(「今後の方向性」を判断した理由が	£				
わかるよう、数値等を用いた具体的					
な成果と、今後の改善プランを記載)	/				

事務事業コード 026800 重点施策 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 鉛製給水管更新事業 所属名 鳥取市水道局 鳥取市水道局

1	其	木	恄	報

	体系区分	コード	名 称			事業区分名称 事業期間	区分
置計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	安全・安心なまち			平成16年度 ~ 平成30年度
位置では	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり				水道法 鳥取市水道事業長期
けの	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	経営構想
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国间域划	
目施 世策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	
予質	予質事業名					予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

鉛製給水管 対象 (何を、誰を) 水道水の鉛水質基準が強化されたことにより、基準値を上回らないようにするため。 意図 心区 (どのような状態 にするために) 上水道事業債を財源に、計画的に鉛製給水管の布設替えを行う。 手段 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		1 20011	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		①給水管布設替之 鉛製給水管改良戸数 600戸	①給水管布設替之 鉛製給水管改良戸数 460戸	①給水管布設替之 鉛製給水管改良戸数 450戸		
1			①給水管布設替之 鉛製給水管改良戸数 602戸	①給水管布設替之 鉛製給水管改良戸数 399			
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	130,781	87,550	50,400	0	0
事	直接	経費 A	116,343	72,912	50,400	0	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0
業費	世族社費の財	地方債	103,000	71,100	50,400	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,343		0	0	0
	人作	牛費 B	14,438		0	0	0
醅	員数の	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	3 H/ C	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		残存戸数	Ħ	目標	600	460	450	0	0
	1		Ĺ	実績	602	399	0	0	0
, ₋		(指標の説明) 鉛製給水管残存戸数							
活動				目標	0	0	0	0	0
動	2			実績	0	0	0	0	0
指標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平瓦	は29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	[事務事業の事	、プラ/ 業概要と連動)		
			【問合せ先】水道局	工務課管理係	0857-53-7942					
			【10次総の施策体系】4201							
			【予算計上の経過】なし							
			【事業概要】 老朽化による漏水事故が多く発生していることや、鉛の水質基準が強化されたことから 、鉛製給水管の解消に向け、計画的に更新を行う。							
			【事業の成果】 平成29年度末で31, っている。	184戸 (94.9%)	/32, 863戸) のオ	市設替えを完了	でし、残戸数が	1,679戸とな		
	į	事務事業の実施概要	【今後の課題・方向付 鉛製給水管の更新は 策整備事業による老権 現時点の計画では るが、これは民地内打 定のものであり、平月	は、主に鉛製糸 朽管更新と同時 平成30年度末に 掘削の了解が得	まに行う布設替こおいても、約 よいないもの	えによって行 900件の鉛製約 や、老朽管更	っている。 計水管が残存す 新と同時に布記	ることにな 没替えする予		
6	活重	加指標の達成率【CHECK】								
Ĕ	/U A	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指	1	残存戸数		100%	87%					
標達	2									
成率	3									

7. 評価【CHECK】

7. HIM COLLECT		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	計画改良戸数460戸に対し399戸施工できたため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	ほぼ年度目標どおりに工事が施工できたため。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、	■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	
「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

8. 4	事業の成果を踏まえた今後の方向性	(ACTION)	ı
------	------------------	----------	---

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担坐細馬の証据ったよ		給水管更新事業	とによる給水管単独の布設替える	と、震災対策整	禁備事業による老朽管更新と同時に行う布設替
担当課長の評価コメント	えによって行っている。				
(「今後の方向性」を判断した理由が	現時点の計画では平成30年度末	においても、糸	5900件の鉛製給水管が残存する	ことになるが、	これは民地内掘削の了解が得られないもの
わかるよう、数値等を用いた具体的	や、老朽管更新と同時に布設替え	する予定のもの	つであり、平成31年度以降は修約	善等のその他事	業で順次更新できるよう努める。
な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コード 026900 重点施策 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 配水施設整備事業 所属名 鳥取市水道局 鳥取市水道局

1	其本	害報

	体系区分	コード		名 称			区分
置計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成37年度
総合計画の	政策	02	央適でゆとりある生活環境づくり				水道法 鳥取市水道事業長期
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	経営構想
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国间域划	
目施 世策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年		(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標页の	公共下水道普及率	Š		77.2人	78.5人	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	
予質	予質事業名					予算事業コード	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	送水施設、配水池及び送配水管路
意図 (どのような状態 にするために)	平常時における安定給水の確保及び効率的な水運用を行うため。
手段 (どうするのか)	計画的に送水施設、配水池及び送配水管路の整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	サ木の・	<u> </u>	画・美稿【PLAN・DO】 次年度別の取り組みを間深に記入								
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
			①送水施設整備 ②送配水管路整備	①送水施設整備 ②送配水管路整備	①送水施設整備 ②送配水管路整備	①送水施設整備 ②送配水管路整備	①送水施設整備 ②送配水管路整備				
	年度	E別計画	・河原インター山手工業団地	・河原インター山手工業団地・賀露ポンプ場	•賀露ポンプ場						
内容											
	年度別実績		①送水施設整備 ②送配水管路整備	①送水施設整備 ②送配水管路整備							
			・河原インター山手工業団地	・河原インター山手工業団地・賀露ポンプ場							
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
		貴(A+B)	387,265	82,268	0	0	0				
事	直接	経費 A	380,046	74,949	0	0	0				
業	直接経	国∙県	0	0	0	0	0				
費	豊佞社費の財	地方債	185,600	47,000	0	0	0				
	源内訳	その他	1,349	0	0	0	0				
		一般財源	193,097	27,949	0	0	0				
	人作	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0				
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00				
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
l '	`	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		事業進捗率	%	目標	19.6	25.8	34.9	42.6	48.4
活動	1		/0	実績	19.6	23.5	0	0	0
		指標の説明)事業費総額に対する進捗率							
				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成	は29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	(うら) 業概要と連動)	
			【問合せ先】水道局	工務課管理係(0857-53-7942				
			【10次総の施策体系】4201						
			【予算計上の経過】フ	なし					
			【事業の内容】 平常時における安定給水の確保及び効率的な水運用を行うため、送水施設、配水池、送配水管路の新設及び増設改良を行う。(直接送水拡大、千代川横断複数化、配水管網整備・連絡管整備、工業団地への送配水施設整備)						
	3	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成29年度末では ³ 平成29年度は賀露 中だった河原インタ・	ポンプ場を改修	をし、直接送水	拡大のための	整備を行った。		
事務事業の夫施憱安			【今後の課題・方向性】 平成30年度は引き続き賀露ポンプ場を改修し、直接送水拡大のための整備を行う。 平成31年度以降も引き続き直接送水拡大、千代川横断複数化、配水管網整備・連絡管整備を行う。						
6	活重	加指標の達成率 【CHECK】							
Ŭ.	/山 书	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指	1	事業進捗率		100%	91%				
標達	2								
成率	3								
<u> </u>	=a./a	F COUTOK!							
		「CHECK】 「項目と評価の視点	評価内容		評価理由(診	平価の視点を踏	主えて記入)		

年度計画の進捗度

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ うな進捗状況となったか。

事業の成果

6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 清: 上回る」、「80%~100%未満: 日標とおり」、 「50%~806未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価

□ 1. 計画を上回る

□ 2. 目標を上回る

■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る

□ 1. 目標を大幅に上回る

■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了

3. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】						
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小	
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少	
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5-1	臨年実施等、意図的に休止	
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止	
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	10 1 111 1 111	□ 5-3	制度的に終了	
					· 5 .	

事が施工できたため。

ほぼ計画どおり施設及び管路整備を行ったため。

年度目標値25.8%から実績値23.5%に下がったが、ほぼ年度目標値どおり工

 事務事業コート
 027000
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 震災対策整備事業
 所属名
 鳥取市水道局
 鳥取市水道局

-				
1	甘-	*	뇬	좄낻

<u> </u>	TTIFITIA						
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
置合	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成37年度
総合計画	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	水道法 鳥取市水道事業長期
17 D	施策	4201	生活基盤の充実	生活基盤の充実			経営構想
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	根拠計画等	
目施 無策			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	
予算	予算事業名	-	_			予算事業コード	

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 老朽化した水道施設

 意図 (どのような状態 にするために)
 地震などの災害に強い水道施設にするため。

 計画的に耐震管への布設替え等を行う。
 計画的に耐震管への布設替え等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	予木い	十尺川山巴	· 天祖 【PLAN·DU】			か 十皮	収り組のを削添に配入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強	③耐震補強	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新 ③耐震補強 ④震災時応急拠点整備
Tr Tr	年度	E別実績	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管更新	①基幹管路耐震化整備 ②老朽管 ③耐震補強			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	342,136	219,136	0	0	0
事	直接	経費 A	320,479	197,179	0	0	0
事業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	97,400	120,000	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	223,079	77,179	0	0	0
	人作	牛費 B	21,657	21,957	0	0	0
醅	員数の	正規職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1 '	par 1	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		事業進捗率	%	目標	6.1	11.4	17.7	27.6	37.5
	1		,	実績	6.1	9.9	0	0	0
,т		(指標の説明) 事業費総額に対する進	韭 捗率						
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1730				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

_	 -		(no)	*********			まみませるま	(うら) ************************************
5.	平均	29年度の事務事業実施概要 	<u> </u>			的に記入(予算	事務事業の事	耒概安と連 動)
	1	事務事業の実施概要	【問合せ先】水道局: 【10次総の施策体系】 【予算計上の経過】。 【事業のの経費をできる。 「事業のででは、 「事業のでででででできる。」 「事業ののでででできる。」 「事業ののででででできる。」 「事業ののででででできる。」 「事業ののででででできる。」 「事業ののででででできる。」 「事業ののでででできる。」 「事業のででででできる。」 「事業のでででできる。」 「でできる。」 「でででできる。」 「ででででででできる。」 「でででででできる。」 「でででででででできる。」 「ででででででででででできる。」 「でででででできる。」 「ででででできる。」 「ででででできる。」 「でででででできる。」 「ででででででできる。」 「ででででできる。」 「でででででできる。」 「ででででできる。」 「ででできる。」 「でででででできる。」 「ででででできる。」 「でででできる。」 「でででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「でででででできる。」 「でででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「でででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「ででできる。」 「でででできる。」 「ででででできる。」 「でででできる。」 「でででできる。」 「ででできる。」 「でででできる。」 「でででできる。」 「ででででででできる。」 「でででででででできる。」 「ででででででででででできる。」 「ででででできる。」 「でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	4201 なし	でするため、導 を備を行う。 をの発生に耐悪管で 計画的に耐震 計画的に耐ま 対 でで でで で で で で で で で で で で で で で で で	い塩化ビニル ⁴ 替えする。ま 強工事を実施 る進捗率は12. (IP)、塩化ビニ 行っているが、	管や濁水発生のた、耐震診断・ する。 0%となってい -ル管(TSVP)及	D原因となっ 耐震補強計 る。 び鋼管(SP)
_								
6.	活重	指標の達成率【CHECK】 指標の達成率【CHECK】		亚战20年度	亚战20年度	亚战20年帝	亚战21年度	亚战20年中
		事業進捗率		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	1			100%	87%			
標達成	2							
率	3							
7.	評価	[CHECK]						

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	ほぼ経過ウしていた施工箇所の工事が完成できたため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	ほぼ年度目標どおりに工事が施工できたため。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、 「50%~ 80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	_ :: _ :: _ :: - : : : : : : : : : : : :			□ 5-3	4-122-1-1-1
担当課長の評価コメント	現在、老朽管として位置付けし 行っているが、平成36年度以降も				いては、平成35年度解消を目標に布設替えを
(「今後の方向性」を判断した理由が		七十月日レルマチル		□ □ □ □ □ □ 1 1 / □ □ 1 1 / □ □ □ □ □ □	' o
わかるよう、数値等を用いた具体的					
な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コード 027100 重点施策 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 浄水施設整備事業 所属名 鳥取市水道局 鳥取市水道局

	-				
1	#	+	洼	恕	

位総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	水道法 鳥取市水道事業長期
17 O	施策	4201	生活基盤の充実	生活基盤の充実			経営構想
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	根拠計画等	
目施 無策			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	
予笪	予笪事業名		_			予算事業コード	

<u>2. 事業目的</u>	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	青谷地域浄水施設、水質検査室
意図 (どのような状態 にするために)	安定した水質を確保するため。
手段 (どうするのか)	青谷地域浄水施設及び水質検査室の早期完成。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	争表の	牛度別計画	·美績【PLAN·DO】 ※年度別の取り組みを間潔に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度別計画 一 年度別実績		①青谷地域浄水施設整 備	①青谷地域浄水施設整 備 ②水質検査室建設	①青谷地域浄水施設整 備 ②水質検査室建設	①水質検査室建設				
12			①青谷地城浄水施設整 備	①青谷地域浄水施設整 備 ②水質検査室建設						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業領	貴(A+B)	126,355	575,229	0	0	0			
由	直接	経費 A	111,917	560,591	0	0	0			
事業	±±± 47	国∙県	36,394	170,949	0	0	0			
費	直接経 費の財	地方債	37,400	185,500	0	0	0			
_	源内訳	その他	37,400	185,500	0	0	0			
		一般財源	723	18,642	0	0	0			
	人	牛費 B	14,438	14,638	0	0	0			
中	員数の	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00			
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	. 10/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		事業進捗率	%	目標	10.6	58.7	80.2	100	0
	1		/0	実績	10.6	58.7	0	0	0
·-		(指標の説明)事業費総額に対する進	韭捗率(፯	平成30年	三 総事業費変	更)			
活動				目標	0	0	0	0	0
動岩	2			実績	0	0	0	0	0
指標		(指標の説明)							
171				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)				•			

5.	平成	29年度の事務事業実施棚					事務事業の事	業概要と連動)		
			【問合せ先】水道局」	工務課管理係	0857-53-7942	·				
			【10次総の施策体系	系】4201				•		
			【予算計上の経過】だ	なし				•		
			【事業の概要】 青谷地域上水道の明 検出されたことから、 老朽化し、耐震基準 易水道事業の統合に係	、その対策とし 準を満たしてい	て膜ろ過施設 いない現在の水	浄水場を建設で 質検査室を江口	する。			
			【事業の成果】 平成29年度末で平原	成31年度まで∂)事業費に対す	る進捗率は10	6%となってい	·る。		
	事務事業の実施概要		【今後の課題・方向性 青谷地域浄水施設 成30年の供用開始に同	【今後の課題・方向性】 青谷地域浄水施設整備については、国庫補助金、上水道事業債等を財源にしており、平成30年の供用開始に向け、計画に遅れのないよう事業を進める。 水質検査室については、平成29年度に詳細設計業務を行い、平成30年度から新築工事に						
<u>_</u>	—									
6.	活動	h指標の達成率【CHECK		五代00年度	亚代00年度	亚代20年度	一元代の左座	では20年度		
┝		事業進捗率	標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指煙	1			100%	100%	l	<u> </u>	<u> </u>		
標達は	2									
成率	3									
	=== /2	- Tourow								
		i【CHECK】 i項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	平価の視点を踏っ	まえて記入)			
		度計画の進捗度		ほぼ計画どおり	工事が施工でき		0.00			
当該全	。事業の年度別計画・実績【PLAN・DO]より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ な進捗状況となったか。									
Ļ		事業の成果] 2. 目標を上回る	ほぼ年度目標と	どおり工事が施口	工できたため。				
「1509 満:上 「50%	1%以上: 上回る」、 %~ 809	: 八幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満: 目標どおり」、 ※去満・下回る」「50%去満・大幅に	■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る							

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図	的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度	的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段	等の改善[□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率	化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事	業との統合 [□ 5−3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	青谷地域浄水施設整備について う事業を進める。	は、国庫補助金、上水	道事業債等を財源にしてお	おり、平成30	年度の供用開始に向け、計画に遅れのないよ
(「今後の方向性」を判断した理由が		年度から新築工事に着	手し平成32年の水質検査3	室稼働に向け	、計画に遅れのないように事業を進める。
わかるよう、数値等を用いた具体的					
な成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コード 027201 重点施策 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 下水道等事業(管渠費) 所属名 環境下水道部 下水道企画課

1. 基本情報

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期
総合計画	政策	02	快適でゆとりある生活球	環境づくり		根拠法令、	下水道法 鳥取市下水道等事
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	業経営戦略(平成29年度~平 成38年度)
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	1,200 T (2,7
目 担 策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	その他
予算	予算事業名	予算事業名				予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

未普及解消事業:下水道未普及地域の管渠敷設等の実施。

浸水対策事業:市街地における浸水被害を防ぐため雨水対策の実施。 対象

管渠改築事業:管渠の地震対策及び長寿命化対策の実施。 (何を、誰を)

未普及解消事業:市街化区域及び公共水域の水質保全を図る。 意図

浸水対策事業:市街地における浸水被害を防ぐ。 管渠改築事業:管渠の安全性及び信頼性を高める。 (どのような状態

にするために)

未普及解消事業:汚水幹線・準幹線・枝線等の整備。

浸水対策事業:側溝・雨水管の整備。 手段 管渠改築事業:管渠の診断及び更生。 (どうするのか)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

	1.200	1 2000	文様 「これ ここ	ᄑᅷᅆᄹᄨ	ᄑᅷᅆᄹᄨ		で 代の ケー
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			①未普及解消事業・浸 水対策事業・管渠改築 事業の実施。	①未普及解消事業・浸 水対策事業・管渠改築 事業の実施。	①未普及解消事業・浸 水対策事業・管渠改築 事業の実施。	①未普及解消事業・浸 水対策事業・管渠改築 事業の実施。	①未普及解消事業・浸 水対策事業・管渠改築 事業の実施。
	年度	別計画	計画:1,305,530千円	計画:1,779,980千円	計画:1,705,050千円	計画:1,576,000千円	計画:1,541,000千円
内容			①実績:1,112.990千	①実績:1,263.890千			
			①美額:1,112,990千 円	①美額:1,263,890千 円			
	年度別実績						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	1,210,837	1,355,682	0	0	0
事	直接	経費 A	1,112,990	1,263,890	0	0	0
業	±+±.4∀	国・県	352,782	340,652	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	679,507	814,174	0	0	0
~	順内訳	その他	51,308	109,064	0	0	0
		一般財源	29,393	0	0	0	0
	人作	牛費 B	97,847	91,792	0	0	0
出本下	員数の	正規職員	13.00	12.00	0.00	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	אמניו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		事業進捗率	%	目標	9.2	21.7	33.7	44.8	55.6	
	1		/0	実績	7.8	16.7	0	0	0	
٠,-		指標の説明)事業費の総額に対する進捗率								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
121				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

			【同合で光】「水道	建议珠建议第1	徐 0857-20-3	300、建設第2	徐 0857-20-3	307			
			【10次総の施策体	系】4201							
			【予算計上の経過】 下水道等事業会計 当初予算・2月補								
			浸水対策事業:市	【事業の概要】 未普及解消事業:下水道未普及地域の管渠敷設等の実施。 浸水対策事業:市街地における浸水被害を防ぐため雨水対策の実施。 管渠改築事業:管渠の地震対策及び長寿命化対策の実施。							
		事務事業の実施概要	浸水対策事業:市	事業の成果】 普及解消事業:市街化区域及び公共水域の水質保全を図る。 浸水対策事業:市街地における浸水被害を防ぐ。 管渠改築事業:管渠の安全性及び信頼性を高める。							
	【今後の課題・方向性】 未普及解消事業・浸水対策事業・管渠改築事業の内容等を精査し、事業費の縮減を図り 継続して行う。										
L											
6	5. 活	<u>括動指標の達成率【CHE</u> 0 ♯	CK】 旨標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
L	<u>.</u>	事業進捗率	H IN L	85%	77%	1 1000-10	1 1%01 — 1%	1 19,02-19			
1	票—			05/0	1 1 70						
j	全 式 —	2									
2	-	3									
	, ≡п	平価 【CHECK】									
Ĺ			評価内容		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)				
			□ 1. 計画を上回る	計画していた施	設整備を次年	度へ繰越したた	」め。				
	+ *	l i	□ 2.計画どおり ■ 3.事業未完了								
븰	該年月	の年度別計画・実績【PLAN・DO】より まで予定した事業が3月末時点でどのよ b状況となったか。									
F		事業の成果	 □ 1. 目標を大幅に上回る	目標していた施	設整備を次年	度へ繰越したた	こめ。				
6	活動		□ 2. 目標を上回る								
T 清	50%以 :上回	以上:大幅に上回る」、「101%~150%未]る」、「80%~100%未満:目標どおり」、	□ 3. 概ね目標どおり ■ 4. 目標を下回る								
		,80%未満・下向る」「50%未満・大幅に	□ 5. 目標を大幅に下回る								
8	8. 事	事業の成果を踏まえた今後									
				1-1 意図的 1-2 制度的	-	□ 4-1 意[□ 4-2 制[図的に縮小 度的に自然減少	,			
				2-1 手段等			<u> 実的に日然減少</u> 年実施等、意図				
		I	□ 4. 縮小 □	2-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意[図的に廃止				
H		≢	□ 5. 休止、廃止、終了 □ ○ 5. 休止、廃止、終了 □ ○ 5. 休止、廃止、終了 □	2-3 他事業 改築事業の内容等精査		□ 5−3 制度 を図り継続して行う。					
1	「今{ わか <i>!</i>	と当課長の評価コメント 後の方向性」を判断した理由が るよう、数値等を用いた具体的 限と、今後の改善プランを記載)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

 事務事業コート
 027202
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 下水道等事業(ポンプ場費)
 所属名
 環境下水道部
 下水道企画課

1	Ħ	*	柱	휴민

T. ETTITIK									
☆ 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分		
位置が	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期		
づ闘	政策	02	快適でゆとりある生活理	環境づくり	根拠法令、		下水道法 鳥取市下水道等事		
17 D	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	業経営戦略(平成29年度~平 成38年度)		
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	1,000 1,00		
目施 無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備		
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営		
0,				0	0	会計区分	その他		
予算	予算 予算事業名					予算事業コード			

2. 事業目的【PLAN】

2. 事業目的	[PLAN]
対象(何を、誰を)	ポンプ場改築事業:ポンプ場の地震対策及び長寿命化対策の実施。
意図 (どのような状態 にするために)	ポンプ場改築事業:ポンプ場の安全性及び信頼性を高める。
手段 (どうするのか)	ポンプ場改築事業:ポンプ場の長寿命化対策及び計画策定。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	争表の	年度別計画	・美積 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
			①ポンプ場改築事業の 実施。	①ポンプ場改築事業の 実施。	①ポンプ場改築事業の 実施。	①ポンプ場改築事業の 実施。	①ポンプ場改築事業の 実施。			
			計画:115,600千円	計画:88,000千円	計画:398,400千円	計画:117,490千円	計画:275,636千円			
	年度	E別計画								
ь										
内容										
ľ			①実績:111,831千円	①実績:45,900千円						
	在住	F则宝结								
	年度別実績									
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業引	貴(A+B)	133,488	67,857	0	0	0			
事	直接	経費 A	111,831		0	0	0			
業	直接経	国・県	50,300		0	0	0			
費	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	52,200		0	0	0			
	源内訳	その他	31	50	0	0	0			
		一般財源	9,300		0	0	0			
	人们	牛費 B	21,657	21,957	0	0	0			
膱	員数の	正規職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00			
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u>+.</u>	贝顺	な女人することで天心した古動の人で	C 2 1X	9 7日1示	LI LAN DO					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		事業進捗率	%	目標	3.5	6.4	18.8	22.5	31.1	
	1		, -	実績	3.5	5	0	0	0	
. _		(指標の説明) 事業費の総額に対する進捗率								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動 指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
12X				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5.	平原	は29年度の事務事業実施					事務事業の事	業概要と連動)
			【問合せ先】下水	道企画課計画係(0857-20-3303、	事業調整係	0857-20-3924	
			【10次総の施策	体系】4201				
			【予算計上の経過 下水道等事業会 当初予算・2月	計(企業会計)				
			【事業の概要】 ポンプ場改築事	業:ポンプ場の地	也震対策及び長	寿命化対策の	実施。	
			【事業の成果】 ポンプ場改築事	業:ポンプ場の多	そ全性及び信頼	性を高める。		
	-	事務事業の実施概要	【今後の課題・方 ポンプ場改築事	向性】 業の内容等を精査	€し、事業費の	縮減を図り継	続して行う。	
	いてエ							
6.	 古里	加指標の達成率 【CHEC 指	<u>ド】 </u>	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
+15	1	事業進捗率	TIM H	100%	78%	17,700 172	1770-172	1770=172
指 標				100%	10%			
達 成	2							
率	3							
		[CHECK]						
	評価	「項目と評価の視点 「	評価内容	ションフンをせ		平価の視点を踏		
	年	.1号 青丁田(7771年7万7号 1	コ 1. 計画を上回る コ 2. 計画どおり	計画していたが	配設登開を伏牛	及へ裸越したは	_ «) _°	
3. 事	業の生	F度別計画・実績【PLAN・DO】より	■ 3. 事業未完了					
		予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。						
		事事(/) by 安	□ 1. 目標を大幅に上回る	る 目標していた旅	西設整備を次年	度へ繰越したた	<u>こ</u> め。	
6. 活	動指標		コ 2. 目標を上回る コ 3. 概ね目標どおり					
「150 満:上	%以上 :回る」	:大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満:目標どおり」、	」 3. 概ね日保このり ■ 4. 目標を下回る					
		%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	3				
8.	事第	美の成果を踏まえた今後(
				□ 1-1 意図的		□ 4-1 意		
				□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等			度的に自然減り 年実施等、意図	
		[□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化	、簡素化	□ 5-2 意	図的に廃止	····
		7	3 5. 休止、廃止、終了 ペンプ場改築事業の内容等精査し、	□ 2-3 他事業事業費の縮減を図り継続		□ 5-3 制	度的に終了	
(Г⊴	今後の	課長の評価コメント から	・・・ 物外ボザボソロ 付 刊 且 し、	구 不 젖 ㆍ 기미 PS				

事務事業コート 027203 **重点施策** 該当なし 平成29年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 下水道等事業(処理場費) 所属名 環境下水道部 下水道企画課

1	#	太	性	ᇷ
	忢	AL,	百	ΧIV

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期
づ盟	政策		快適でゆとりある生活理	環境づくり		根拠法令、	下水道法 鳥取市下水道等事
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	業経営戦略(平成29年度~平 成38年度)
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	1,200 T (2,7
目無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
٥٫				0	0	会計区分	その他
予算	予算事業名					予算事業コード	

2. 事業目的【PLAN】

処理場改築事業:処理場の地震対策及び長寿命化対策の実施。

対象 水質保全事業:水処理施設等整備の実施。

(何を、誰を)

処理場改築事業:処理場の安全性及び信頼性を高める。

水質保全事業:公共用水域の水質保全及び水循環を構築する。

意図 (どのような状態 にするために)

(どうするのか)

処理場改築事業:処理場各施設の診断及び改修。

手段 水質保全事業:処理場各施設の改修。

3 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	事業の:	牛度別計画	・実績 【PLAN・DO】				取り組みを簡潔に記人
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。	①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。	①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。	①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。	①処理場改築事業・水 質保全事業の実施。
			計画:631,000千円	計画:657,900千円	計画:632,000千円	計画:1,260,185千円	計画:1,444,271千円
	年度	[別計画					
l							
内							
容			①実績:467,607千円	①実績:165,815千円			
	年度	[別実績					
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	489,264		0	0	0
事	直接	経費 A	467,607	165,815	0	0	0
業	古拉奴	国∙県	232,367	84,847	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	221,200	77,332	0	0	0
	源内訳	その他	94	195	0	0	0
		一般財源		3,441	0	0	0
	人作	牛費 B	21,657	21,957	0	0	0
씖	昌数の	正規職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
	競員数の 内訳	嘱託職員		0.00	0.00	0.00	0.00
1	. 34/	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

	貝/派とIXパテ OCC C 大心のに石切の八とCと X テ II I深 【I LAN DO】										
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		事業進捗率	%	目標	2.5	6.8	10.1	16.8	24.4		
	1		70	実績	2.5	4.2	0	0	0		
'		(指標の説明) 事業費の総額に対する進捗率									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
121				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)			_	_	_	_			

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

				【問合せ先】下水道)857-20-3303、	事業調整係	0857-20-3924				
				【10次総の施策体	糸】4201							
				【予算計上の経過】 下水道等事業会計 当初予算・2月補								
					【事業の概要】 処理場改築事業:処理場の地震対策及び長寿命化対策の実施。 水質保全事業:水処理施設等整備の実施。							
				【事業の成果】	ye. mangar 4 mm	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
	事務事業の実施概要			処理場改築事業: 水質保全事業:公	型乗り成本】 処理場改築事業:処理場の安全性及び信頼性を高める。 水質保全事業:公共用水域の水質保全及び水循環を構築する。							
				【今後の課題・方向	【今後の課題・方向性】 処理場改築事業・水質保全事業の内容等精査し、事業費の縮減を図り継続して行う。							
L												
6	3. 活	動]指標の達成率 【CHE	CK]								
L				指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
1	= 1	1	事業進捗率		100%	62%						
3	票主	2										
2	或 <u>—</u> 軽 :	3										
_	, ≣⊒	四田	[CHECK]									
Ĺ			項目と評価の視点	評価内容		評価理由(部	平価の視点を踏	まえて記入)				
ľ			度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	計画していた旅							
3	事業	の年	度別計画・実績【PLAN・DO】より	□ 2. 計画どおり■ 3. 事業未完了								
놸	該年月	隻で∸	予定した事業が3月末時点でどのよ ことなったか。									
ľ			事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る	目標していた旅	設整備を次年	度へ繰越したた	こめ。				
			の達成率 【CHECK】より	□ 2. 日標を工画る □ 3. 概ね目標どおり								
沛	:上回	る」、	: 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%未満: 目標どおり」、 %未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に	■ 4. 目標を下回る								
			の木凋:「凹る」、「30%不凋:入幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る								
,	, #	- 11/	のよのより									
ſ). 手	+ 未	・の以木で蹈まんに予修	後の方向性【ACTION】 □ 1. 拡充 □	1-1 意図的	に拡充	□ 4-1 意	図的に縮小				
					1-2 制度的			度的に自然減少				
ı			今後の方向性		2-1 手段等			年実施等、意図	的に休止			
1					│2-2 効率化 │2-3 他事業		□ 5-2 意 □ 5-3 制原					
t	±Ρ	14	課長の評価コメント	処理場改築事業・水質保全事業の内容				ストハー()				
1	11⊔	=	球技の計1辿コメント ┃)方向性」を判断した理由が ┃									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

 事務事業コート
 027301
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 簡易水道整備事業(改修)
 所属名
 鳥取市水道局
 鳥取市水道局

1	其	木	恄	報

	- 113 1IV						
位 総	体系区分	コーデ		名 称		事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成29年度 ~ 平成48年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活球	環境づくり		根拠法令、	
けの	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目施	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	特別会計
予笪	予算 ┃ 予算事業名 ┃簡易水道施設改修整備事業費					予算事業コード	04-01-01-02-01-09

2. 事業目的【PLAN】

2. 争耒日的	[PLAN]
対象(何を、誰を)	統合前の簡易水道の浄水施設、配水池及び送配水管等
意図 (どのような状態 にするために)	統合前の簡易水道の平常時における安定給水の確保及び効率的な水運用を行うため
手段 (どうするのか)	統合前の簡易水道の浄水施設、配水池及び送配水管路の整備を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	争表の	牛皮別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを間潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	医別計画	①猪子:飲料水供給施 設測量見上:用地取得 ②面佐治:浄水施設整 備 ④津無:用地取得 ⑤鬼入道:送水施設整 備	≪水道事業へ統合≫	①浄水施設整備 ②送水施設整備 ③配水施設整備 ④送配水管路整備	①浄水施設整備 ②送水施設整備 ③配水施設整備 ④送配水管路整備	①浄水施設整備 ②送水施設整備 ③配水施設整備 ④送配水管路整備
拉	年度	 野実績	①猪子:飲料水供給施 設測量設計 ②藏見上:用地取得 ③口佐治:浄水施設整 備 ④津無:用地取得 ⑤鬼入道:送水施設整 備	①浄水施設整備 ②送水施設整備 ③配水施設整備 ④送配水管路整備			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	206,776	681,847	0	0	0
事	直接	経費 A	170,681	645,252	0	0	0
業	±+±4 ∨	国・県	8,594	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	160,150	321,900	0	0	0
	源内訳	その他	1,193		0	0	0
		一般財源	744	323,352	0	0	0
	人	牛費 B	36,095	36,595	0	0	0
膱	員数の	正規職員	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u> </u>	又加	な技人することで美心した活動の人も	しこれ	7 1ロ1ホ	LI LAN DO						
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		新規に事業着手した簡易水道事業等及び地域の数	施設	目標	5	0	0	0	0		
	1		旭以	実績	5	0	0	0	0		
٠,-		指標の説明)									
活動		事業進捗率		目標	0	8.5	20.5	31.9	43.2		
動指	2			実績	0	8.5	0	0	0		
標		(指標の説明) 事業費総額に対する進捗率									
121				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

			【問合せ先】水道局。	- 上務課管埋係 0857-53-7942						
			【10次総の施策体	系】4201						
			【予算計上の経過】	【予算計上の経過】なし						
			【事業の内容】	50						
			平成29年4月の事業 、統合後20年間の旧作 備計画」を策定し、化	簡易水道事業等	給水区域につ	いて、平成29年	年度、新たに			
	3	事務事業の実施概要			,	,		ļ		
			安定給水の確保及で		耳を行うため	、引き続き事	業を進める。			
L			<u> </u>							
6	. 活重	カ指標の達成率 【CHE	_	亚世00年度	亚芹00年度	亚世20年度	亚式红左座	亚世20年度		
H		新規に事業着手した簡易水道事	指標名 業等及び地域の数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
‡ *	i 1	and a Mic Mic Lab	100%							
村並月	章 2	事業進捗率			100%					
	₹ 3									
<u>-</u>	証征	[CHECK]								
ŕ		項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
		度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	ほぼ計画してい						
3		E度別計画・実績【PLAN・DO】より	■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了							
当	該年度で	予定した事業が3月末時点でどのよ 記となったか。								
		事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	ほぼ年度目標どおりに工事や業務が完成できたため。						
6.	活動指標	の達成率【CHECK】より	□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり							
満	上回る」	: 大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満: 目標どおり」、 %未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に	□ 4. 目標を下回る							
		%未過:下凹る」、130%未過:入幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5.目標を大幅に下回る							
Q	車型	まの成里を跡まえた今後	その方向性【ACTION】							
۲	. T 7	∨バルグ に 四 かんに すび		1-1 意図的	に拡充	□ 4-1 意	図的に縮小			
I		A 44 = -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1		1-2 制度的			度的に自然減少			
	今後の方向性 ■ 3. 現状維持			2-1 手段等			年実施等、意図	的に休止		
				2-2 効率化 2-3 他事業		□ 5-2 意[□ 5-3 制]				
H	担当	課長の評価コメント	着手している地域水道は早期完成を目				V-11-444 1			
1	「今後 <i>0</i> つかるよ	味及の計画コグンド)方向性」を判断した理由が う、数値等を用いた具体的 会後の改善プランを記載)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

 事務事業コート
 027400
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 緑化推進事業
 所属名
 都市整備部 都市環境課

1	其	木	恄	報

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけり目標の施策の	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成26年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活球	t適でゆとりある生活環境づくり			
	施策	4201	生活基盤の充実		根拠法令、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
ㅂੁ⊭			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	その他
/ =	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	外部委託
0,					0	会計区分	一般会計
予算 ■ 予算事業名 ■ 緑化推進事業費					予算事業コード	01-07-05-01-36-01	

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	緑化活動を行う者
意図 (どのような状態 にするために)	緑化知識の定着及び緑化技術の向上
手段 (どうするのか)	講習会の実施及び補助金等を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①ナチュラルガーデン 維持監理指導②ナチュラルガーデン 倶楽部育成事業③縁のサポート育成・ミニナチュラルガーデン 花壇設置④山陰山陽花めぐり街	①ナチュラルガーデン 維持監理指導 ②ナチュラルガーデン 侵楽部育成事業 ③緑のサポート育成・ミニナ チュラルガーデン花壇設置 ④山陰山陽花めぐり街 道協議会参加 ⑤広場芝生化への補助 ⑥緑の基本計画調査	①ナチュラルガーデン 維持監理指導 ②ナチュラルガーデン 侵楽部育成事業 ③緑のサポート育成・ミニナ チュラルガーデン花壇設置 ④山陰山陽花めぐり街 道協議会参加 ⑤広場芝生化への補助	①緑のサポート育成・ミニナ チュフルドーデン花壇設置 ②山陰山陽花砂ぐり街 道路議会参加 ③広場芝生化への補助	①緑のサポート育成・ミニナ チュラルガーデン花直設置 ②山陰山陽花めぐり街 道協議会参加 ③広場芝生化への補助
T		E別実績	①〜⑤の全てを実施完了した。	①~⑥の全でを実施完了した。			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	16,076	18,237	0	0	0
事	直接	経費 A	8,857	10,918	0	0	0
業	直接経	国•県	881	1,177	0	0	0
費	豊田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	476	16	0	0	0
		一般財源	7,500	9,725	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0
中中	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	貝剱の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	אם נייו	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 貝原で投入することで天地した活動の入さる			C 2 1X	9 7日1示	[FLAN-DO]				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		ナチュラルガーデン倶楽部育成事業(参加人数)	Į.	目標	30	25	25	0	0
	1		人	実績	23	17	0	0	0
\ ₋		(指標の説明)							
活動		ミニナチュラルガーデン設置(公園、小学校など)	箇所	目標	12	14	13	0	0
動 指	2		直 の	実績	12	13	0	0	0
標		(指標の説明)							
IN				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•	•	•	

		(うら
5. 平成29年度の事務事業実施概要		※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動
	【問合せ先】景観緑化	係 0857-20-3271
	【10次総の施策体系	1 4102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	:当初予算・P194(都030)
	催した。全国都市緑化	化意識の高揚に資するため、平成25年に全国都市緑化フェアを開 フェアの開催を契機として、緑化知識の定着及び緑化技術の向上を 園を中心に緑化施策を展開し、緑豊かなガーデンシティ鳥取市とし りを推進する。
事務事業の実施概要	【事業の成果】 ナチュラルガーデン 平成27年度 平成28年度 平成29年度 1	8,857千円
	【今後の課題・方向性 今後も緑化知識の定 源の諸収入は、書籍売	着及び緑化技術の向上を図るため、事業を継続する。 ※その他財

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指揮	1	ナチュラルガーデン倶楽部育成事業(参加人数)	77%	68%			
標達成	2	ミニナチュラルガーデン設置(公園、小学校など)	100%	93%			
率	3						

7. 評価【CHECK】

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 滴:上回る」、「80%~100%未満:目標とおり」、「50%~80%未満:下回る」、「80%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る□ 3. 概ね目標どおり■ 4. 目標を下回る	ナチュラルガーデン倶楽部育成事業において、広報及び応募期間が短く 参加人数が目標を下回った。

8. 事	業の成果	を踏まえた?	今後の方向	9性【	ACTION)
------	------	--------	-------	-----	---------

	口 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	を計画し更なる緑化推進に努める		える。現在の事業を引き続き実施するとともに、新たな事業
(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的			
な成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート*
 027500
 重点施策
 まちづくり
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 公園芝生化推進事業
 所属名
 都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

<u> 1. 空行</u>	` H TK						
位 総	体系区分 コード			名 称		事業区分名称	区分
置合置計	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	・全・安心なまち			全期
位置づけ	政策	02	快適でゆとりある生活球	・適でゆとりある生活環境づくり			
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施 世策	安全、迅速に移動できる	幹線道路整備	(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	外部委託
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 公園	園芝生化推	進事業費			予算事業コード	01-07-05-04-12-01

 2. 事業目的 【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 都市公園、公共空地

 意図 (どのような状態 にするために)
 都市公園等の芝生化

 手段 (どうするのか)
 地域住民等と協働して、芝苗(ポット苗)の植付から、水やり、芝刈りなどの維持管理までを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	・事業の年度別計画・美額【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入										
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度別計画 年度別実績		①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡ ②芝刈り機購入	①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡ ②芝刈り機購入	①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡	①芝生化等推進業務 芝生化面積7,000㎡				
			①芝生化等推進業務 芝生化箇所 7箇所 芝生化面積 7,940㎡ ②芝刈別機購入 乗用 1台 ハンドガイド 1台	①芝生化等推進業務 芝生化箇所 7箇所 芝生化面積7,000㎡ ②芝刈り機購入 乗用 3台 ハンドガイド 1台							
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業領	費(A+B)	16,684	18,861	0	0	0				
事	直接	経費 A	9,465	11,542	0	0	0				
業	±+± 4 7	国∙県	1,856	1,925	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
		一般財源	7,609	9,617	0	0	0				
	人	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0				
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00				
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
Ι ΄		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		【KPI】市民との恊働による身近な公園の芝生化数	77 01	目標	120	130	140	150	0	
	1			実績	124	131	0	0	0	
٠,-		(指標の説明) 芝生化を進める公園等の数。 基準値はH26実績								
活動	2			目標	0	0	0	0	0	
指				実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IN				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の]	取り組みを具体	的に記入(予篤	軍事務事業の事	(うら) 業概要と連動)			
0. 十规20平及07平初平未入池械文	【問合せ先】公園係		以 7/1007 と 7く ドド・	#11~HD7(() 31	-+	不例 又 C 足 划 /			
	【10次総の施策体系】4201								
	【予算計上の経過】								
	予算事業別概要目次:当初予算・P196 (都033)								
	【事業の概要】								
	既存の都市公園、公共空地を芝生化することにより、遊具等の新たな整備費用の抑制、草刈り等の維持管理費用の縮減を図る。市民が直接事業に参加することにより「協働」意								
	識の高揚を図る。芝生化による安全快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高める。								
	【事業の成果】 公園等芝生化推進業務								
事務事業の実施概要	平成 2 7 年度 平成 2 8 年度	8, 478 1 9, 465 1							
	平成29年度	11, 542 f	円 芝刈機購	入(乗用3台	、自走式1台)				
	【今後の課題・方向性 市民との協働による		安全安心な	環暗づくりを:	推進する				
	ロルにシノ励 関により	v ←⊥ u(- ۍ ソ	、女王女心は	シベクロ ノ \ ソ ´Œ :	1EVE 1 '00				
6. 活動指標の達成率【CHECK】									
指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
【KPI】市民との協働による身近な公園の芝 指 1	生化数	103%	101%						
標									
成									
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容		極無理由(到	平価の視点を踏	キラで記 ス)				
年度計画の進捗度 □ 1.	計画を上回る		可顺注叫(可	ᄗᄦᄝᄁᄍᇒᆫᅜᆸ	よん (記入)				
■ 2.	計画どおり 事業未完了								
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。									
事業の成果 □ 1.	目標を大幅に上回る								
■ 2.	目標を上回る 概ね目標どおり								
「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未満: 上回る」、「80%~100%未満: 目標どおり」、「50%未満: 大幅に	目標を下回る								
下回る」、※最も達成度の低い指標で評価 5.									
8. 事業の成果を踏まえた今後の方面 口 1.		1-1 意図的	に拡充	□ 4−1 意[図的に縮小				
□ 2.	改善継続 □	1-2 制度的	に自然増加	□ 4-2 制度	度的に自然減少				
今後の方向性	縮小	2-1 手段等 2-2 効率化	、簡素化	□ 5-1 臨	年実施等、意図 図的に廃止	ユエベールに			
都市公園	休止、廃止、終了 口 や公共空地において、はだして	2-3 他事業 で遊べる公園づくりる		□ 5-3 制 協働による芝生化を3		であるが、芝生化面			
担当課長の評価コメント 積に対し (「今後の方向性」を判断した理由が 生環境を	て芝刈り機の台数が不足してい								
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)									

 事務事業コート 027600
 重点施策 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名 公園整備事業
 所属名 都市整備部 都市環境課

1. 基本情報

1. ETHE									
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分		
置合	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期		
総合計画の	政策	02	快適でゆとりある生活理	環境づくり		根拠法令、			
¹⁷ の	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等			
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对			
目施 目策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%) 公共下水道普及率			0%	50%	事業分類区分	建設、整備		
標の				77.2人	78.5人	運営方法	直営		
0,				0	0	会計区分	一般会計		
予算	予算事業名 公園整備事業費					予算事業コード	01-07-05-03-04-01		

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 都市公園

 意図 (どのような状態にするために)
 施設整備

 手段 (どうするのか)
 整備工事等を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	・事業の年度別計画・美積【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入										
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度別計画 年度別実績			債等を活用した、公園 整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起 債等を活用した、公園 整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業),起 付金(公園事業),起 債等を活用した、公園 整備事業の実施	①社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用した、公園整備事業の実施				
			①公園整備事業 ・公園施設更新工事 ・イベト級地値栽工事 ・防災井戸設置工事 ・国府町桜づつみ公園 整備工事	①公園整備事業 ・公園施設更新工事 ・防災井戸設置工事 ・鹿野町城跡公園安全 柵補修工事							
	区分		決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業費	貴(A+B)	87,074	146,018	0	0	0				
事	直接	経費 A	72,636	131,380	0	0	0				
業	古拉奴	国・県	30,051	68,998	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	35,100	53,600	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
		一般財源	7,485	8,782	0	0	0				
	人作	牛費 B	14,438	14,638	0	0	0				
膱	員数の	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00				
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
•		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 貝版とIXハッのことに大肥した石刻の八ととと及り旧様 【FLAN DO】											
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		長寿命化計画に基づく公園施設更新箇所数	箇所	目標	12	25	0	0	0		
	1			実績	12	25	0	0	0		
,_		(指標の説明) 長寿命化計画に基づき施設更新を行う公園数(基準値はH27実績)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
1275				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)			<u> </u>	_	_	_	<u> </u>		

5. 平成29年度の事務事業実施				的に記人(予算	事務事業の事	業概要と連動)			
	【問合せ先】公園係	0857-20-3273							
	【10次総の施策体系】4201								
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 1 9 5 (都 0 3 1)							
	【事業の概要】 社会資本整備総合	【事業の概要】 社会資本整備総合交付金(公園事業)、起債等を活用し、公園事業を推進する。							
	【事業の成果】								
	公園施設更新工事 都市公園等防災井	公園施設更新工事(交付金事業) 都市公園等防災井戸設置工事(起債事業) 鹿野町城跡公園安全柵補修工事(単市)							
事務事業の実施概要	平成28年度	平成27年度 65,145千円 平成28年度 72,636千円 平成29年度 131,380千円							
			113						
	市民ニーズに対応	【今後の課題・方向性】 市民ニーズに対応しつつ、社会資本整備総合交付金などを活用しながら、公園施設長寿 命化計画による施設更新を行い、安全安心な公園整備を推進する。							
6. 活動指標の達成率【CHEC									
推 長寿命化計画に基づく公園施設更	標名新簡所数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
指 1 1	利 直 <i>[7]</i> 奴	100%	100%						
標 達 2									
成率 3									
7. 評価【CHECK】	Er lar de ele	1	== l== == 1 ·==		L \				
評価項目と評価の視点	評価内容] 1. 計画を上回る		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)				
平度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり								
3. 争業の年度別計画・美績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよ] 3. 事業未完了								
うな進捗状況となったか。	7 1 日博太十幅にL同り								
事事(/) by 字] 1. 目標を大幅に上回る] 2. 目標を上回る								
6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり								
50%~ 80%天流・トロム 150%天流・大幅に] 4. 目標を下回る] 5. 目標を大幅に下回る								
Land Control of the C		•							
8. 事業の成果を踏まえた今後の	D方向性【ACTION】								
] 1. 拡充	1-1 意図的		□ 4-1 意[
		1-2 制度的 2-1 手段等			度的に自然減少 年実施等、意図				
		2-1 于段寺		□ 5-1 臨		コント			
	3 5. 休止、廃止、終了 □ 会資本整備総合交付金や起債等を有	2-3 他事業 効に活用しながら、ク		□ 5-3 制力 □ 5-3 制力					
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が	ム東沖亚畑が日天日亚下陸頂守を有	////CID/ID しながり、7	△四四四以 ∨ノ 火 籾 / よ C ♡	- A四 手木で1世座 9・	∞.0				
わかるよう、数値等を用いた具体的な成果と一会後の改善プランを記載)									

 事務事業コート
 027700
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 街なみ環境整備事業
 所属名
 都市整備部
 都市整備部

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	心王		

	- 113 1IV						
位 総	体系区分	コーデ		名 称		事業区分名称	区分
位置では	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成31年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活球	環境づくり		根拠法令、	
けの	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種別			平成32年度	似灰山画寺	
目施 世策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 街法	こみ環境整	備事業費			予算事業コード	01-07-05-01-23-10

2. 事業目的【PLAN】

4. 争未日的	(PLAN)
対象 (何を、誰を)	城下町の歴史的貴重な資源が残る地域において、
意図 (どのような状態 にするために)	観光入込み客数の増加を図り、住民の定住化、観光振興による地域活性化に繋げるため、
手段 (どうするのか)	街なみ景観の維持、向上を図るため、歴史的特性を活かした街なみ整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	争表の	<u> </u>	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	以り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	罗别計画	《久松地区》 ①用地取得	《久松地区》 ①電線類地中化工事 ②建物·立木補償 ③既設管移設補償 《鹿野地区》 ④美舗装化工事	《久松地区》 ①電線類地中化工事 ②道路線東工事 ③美編裝工事 ④既設管移設補償 《鹿野地区》 ⑤住宅等修景補助	《久松地区》 ①電線類地中化工事 ②道路改良工事 ③美舗装工事 《鹿野地区》 ④住宅等修景補助	
	年度	廷別実 績	《久松地区》 ①用地取得	《久松地区》 ①電線類地中化工事 ②建物·立木補償 ③既設管移設補償 《鹿野地区》 ④美舗装化工事			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	費(A+B)	15,220	139,374	0	0	0
事	直接	経費 A	5,835	129,859	0	0	0
業	±+±4∇	国・県	4,404	96,924	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	1,300	31,200	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	131	1,735	0	0	0
	人	牛費 B	9,385	9,515	0	0	0
膱	員数の	正規職員	1.30	1.30	0.00	0.00	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

_ ::	54111	で仅入することで天心した占割の入る	しじひ	7 10 15	I D III DO				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		久松地区街なみ環境整備事業	箇所	目標	0	0	0	1	0
	1		回り	実績	0	0	0	0	0
, _		(指標の説明)1つの区域を定め城下	町の歴	史的景	観に配慮した道	路整備を行う事	業であり、完了	予定年度に目標	票値を設定
活動		鹿野地区街なみ環境整備事業	箇所	目標	0	0	0	1	0
動指	2		回り	実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)1つの区域を定め城下	町の歴	史的景	観に配慮した街	なみ整備を行う	事業であり、完	了予定年度に目	目標値を設定
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•			

5. 平	成29年度の事務事業実施概	t罢【DO】	※削牛度の	取り組みを長体	的に記入(予算	一手肋手木切手	未似女C 压到/
		【問合せ先】景観線	景化係 0857-20-	3271			
		【10次総の施策体	区系】4201				
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P194(都	0 2 9)		
		【事業の概要】 城跡、お堀端の特 化の伝承、住民の定			り、観光振興	による地域活性	生化、地域文
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 1	16,772= 5,835= 29,859=	午円 (久松地午円 (久松地	区)整備箇所(区)補償及び		타 구
	ず効ず未り大心帆女	(翌年度繰越額 1	(鹿野地区)舗装工事 06,087千円 (久松地区)整備工事)				
		【今後の課題・方向 平成29年度から 移転補償工事等の関]性】 o本格的に整備]	[事を行ってお			
		_					
6. 沽	動指標の達成率 【CHECK		Ⅰ 亚巴20年度	亚出现在由	亚出的任由	亚世01年度	亚世20年度
	指標	[【名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
\vdash	久松地区街なみ環境整備事業						
指 1							
標一	鹿野地区街なみ環境整備事業						
標一	鹿野地区街なみ環境整備事業 1						
標 — 達 2 成 —	鹿野地区街なみ環境整備事業 1						
標 達成率 3 7. 評	應野地区街なみ環境整備事業			57/77 18 - 1 / 2		+====11	
標達 2 成率 3	鹿野地区街なみ環境整備事業 価【CHECK】 価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達 2 2 3 3 7. 評評	鹿野地区街なみ環境整備事業 価【CHECK】 価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	1. 計画を上回る 2. 計画どおり		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 評評 2. *** *** *** *** *** *** *** *** ***	鹿野地区街なみ環境整備事業 価【CHECK】 価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	1. 計画を上回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 事態 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	鹿野地区街なみ環境整備事業 「個【CHECK】 「個項目と評価の視点 「年度計画の進捗度 「中度別計画・実績 [PLAN-DO]より で予定した事業が3月末時点でどのよ 状況となったか。	 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る		評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 評評 3. 事務年謝 4. 活動 動	鹿野地区街なみ環境整備事業	 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 評評 #年度排 動級記令: 150%記令:	鹿野地区街なみ環境整備事業	 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 目標を下回る 		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 評評 #年度排 動級記令: 150%記令:	鹿野地区街なみ環境整備事業	 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を大幅に上回る 目標を上回る 概ね目標どおり 		評価理由(記	平価の視点を踏	まえで記入)	
標達成率 7. 評評 #年排 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	原野地区街なみ環境整備事業	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標どおり 4. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 評評 #年排 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	原野地区街なみ環境整備事業	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標どおり 4. 目標を下回る 5. 目標を大幅に下回る 方向性【ACTION】] 1—1 意図的	に拡充	□ 4−1 意	図的に縮小	
標達成率 3 事件	原野地区街なみ環境整備事業	1. 計画を上回る 2. 計画がおり 3. 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標がおり 4. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改善継続		に拡充に自然増加	□ 4-1 意 □ 4-2 制		
標達成率 7. 評評 #年排 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	原野地区街なみ環境整備事業	1. 計画を上回る 2. 計画を上回る 2. 計画とおり 3. 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標とおり 4. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 1. 拡充 2. 改善機続 3. 現状維持 4. 縮小] 1-1 意図的] 1-2 制度的] 2-1 手段等] 2-2 効率化	に拡充 に の 改善 、 簡素化	□ 4-1 意図 □ 4-2 制度 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	
標達成率 7. 評評 2 4 5 5 5 5 5 6 1 5 5 5 6 6 1 5 5 5 6 6 1 5 5 6 6 6 1 5 5 6 6 6 6	原野地区街なみ環境整備事業	1. 計画を上回る 2. 計画を上回る 2. 計画とおり 3. 事業未完了 1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標とおり 4. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 5. 目標を大幅に下回る 方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改善総続 3. 現状維持 4. 縮小] 1-1 意図的] 1-2 制度的] 2-1 手段等] 2-2 効率化] 2-3 他事業	に拡充 加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-1 意図 □ 4-2 制服 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図 □ 5-3 制服	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	

 事務事業コート
 027800
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 都市公園等管理事業
 所属名
 都市整備部
 都市環境課

1	其	木	恄	報

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画の	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	全期
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活理	環境づくり		根拠法令、	
¹⁷ の	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	ļ.
+/-		目標の種別			平成32年度	中国间域划	
目施 世策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	施設管理
標の	公共下水道普及率	3		77.2人	78.5人	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 都市	有公園等管	理費			予算事業コード	01-07-05-04-01-01

2. 事業目的【PLAN】

2. 事未口的	(FLAN)
対象 (何を、誰を)	都市公園、公共空地
意図 (どのような状態 にするために)	市民に対して安全・安心な憩いの広場を提供し、公園の利用促進を図る。
手段 (どうするのか)	都市公園等の維持管理業務を指定管理者等に委託する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>o.</u>	サ未い・	牛发剂引쯸	· 夫楨 【PLAN·DO】			※ 平皮別の	<u> 収り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理
	年度	E別実 績	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理	①都市公園等指定管理 ②公共空地維持管理			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	219,842	234,506	0	0	0
事	直接	経費 A	205,404	219,868	0	0	0
業	±+÷ 47	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	5,600	0	0	0
	源内訳	その他	6,372	4,369	0	0	0
		一般財源	199,032	209,899	0	0	0
	人作	牛費 B	14,438	14,638	0	0	0
曲	員数の	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	_{貝数の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
I	r 10/\	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		鳥取市が管理している都市公園数	箇所	目標	145	146	0	0	0
	1			実績	145		0	0	0
,_		(指標の説明) 鳥取市が管理している	都市公		準値はH27実績	責)			
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
IVI				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.				※前年度の耳	スク極のとストー			
			【問合せ先】公園係	0857-20-3273				
			【10次総の施策体	系】4201				
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・	P195 (都	032)		
			【事業の概要】 都市公園等の維持 民に提供する。また 要素を取り入れた質	、指定管理者制	度を導入し、	指定管理者の	創意工夫に基づ	づき民間的な
	į	事務事業の実施概要	【事業の成果】 都市公園等指定管 平成27年度 平成28年度 平成29年度	129, 400 205, 404	千円 : 千円			
			【今後の課題・方向管理の重要性が増施する。 ※その他、 、自動販売機収入。					
6.	活重	加指標の達成率 【CHEC						
F	$\overline{-}$	指 鳥取市が管理している都市公園数	旨標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	1	局状印が自在して、 の品・・・・ニー・		100%	100%			
達	2							
成 率								
_								
7.		版【CHECK】 「項目と評価の視点 ┃	評価内容	T	評価理由(記	平価の視点を踏	注えて記入)	
		度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る		11 IM-TH (1)		6/C CH5/1/	_
			■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了					
当該	亥年度で-	予定した事業が3月末時点でどのよ	→ □ · ¬ · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
I _	うな進捗状況となったか。							
\vdash	- VE 12 V	事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 日標を上回る	<u> </u>				
6. %	活動指標	事業の成果 「Di達成率 [CHECK]より : 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり					
6. 汗 「150 満: - 「509	活動指標 0%以上 上回る」、 20%~ 809	事業の成果 [の達成率 [CHECK]より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%未満; 目標どおり」。 (84ま巻、下回ろ」、「5004年巻、大幅C	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る					
6. 汗 「150 満: - 「509	活動指標 0%以上 上回る」、 20%~ 809	事業の成果 [の達成率 [CHECK]より : 大幅に上回る」、「101%~150%未 「80%~100%未満; 目標どおり」。 (84ま巻、下回ろ」、「5004年巻、大幅C	□ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり					
6. デ 「150 満: - 「509 下回	活動指標 0%以上 上回る」、 %~ 809 回る」※i	事業の成果 [の達成率 【CHECK】より : 大幅に上回る」、「101 %~150%未 [、180%~100%未満: 日標どおり」、 %未満: 下回る」、「500%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る					
6. デ 「150 満: - 「509 下回	活動指標 0%以上 上回る」、 %~ 809 回る」※i	事業の成果 「回達成率 [CHECK]より ・ : 大幅に上回る」、「101%~150%未 ・ : 180%~150%未満:日標とおり」、 ・ 180%~150%未満:大幅に ・ 180%を開発して	□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る の方向性【ACTION】 □ 1. 拡充	1 1 一 1 意図的		□ 4−1 意		
6. デ 「150 満: - 「509 下回	活動指標 0%以上 1.と回る」 %~ 809 到る」※i	事業の成果 「○連成率 [CHECK]より 「大幅に上回る」、「101%~150%未 「809%~100%未満:日標とおり」、 %未満:下回る」、「509%未満・大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 2. 目標を上回る■ 3. 概ね目標どおり□ 4. 目標を下回る□ 5. 目標を大幅に下回る の方向性【ACTION】 □ 1. 拡充□ 2. 改善継続	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に自然増加	□ 4-2 制原	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図	
6. デ 「150 満: - 「509 下回	活動指標 0%以上 1.と回る」 %~ 809 到る」※i	事業の成果 [の達成率 [CHECK]より ::大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満:目標どおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価 (の成果を踏まえた今後の 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	 □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る の方向性 【ACTION】 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 	1-2 制度的 2-1 手段等(2-2 効率化.	に自然増加 の改善 、簡素化	□ 4-2 制度 □ 5-1 臨 □ 5-2 意図	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	
6. 消5.13:15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.1	活動指標 10%以上 上回る」、※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	事業の成果 「回達成率 [CHECK]より 1.5 大幅に上回る」、「101%~150% 1.5 (10% を	 □ 2. 目標を上回る ■ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る の方向性 【ACTION】 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 	1-2 制度的 2-1 手段等(2-2 効率化。 2-3 他事業。	に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-2 制原 □ 5-1 臨 □ 5-2 意 □ 5-3 制 Π	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	

 事務事業コート
 027900
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 空き家対策事業
 所属名
 都市整備部 建築指導課

4	# +	사ギ 보다	
7	-F-V-	기금 짜	

	体系区分	コード		名 称			区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成26年度 ~ 全期
づ盟	で画 政策 02 快適でゆとりある生活環境づくり				根拠法令、	鳥取市空家等の適切な管理に	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実	生活基盤の充実			関する条例
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	根拠計画等	
目 無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	補助金交付
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 空澤	家対策事業	書			予算事業コード	01-07-01-02-21-02

2 事業目的【PIAN】

4. 争未日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	管理不全な状態にあり、当課より必要な措置を講じるよう指導、勧告された戸建住宅。
意図 (どのような状態 にするために)	放置され老朽し、倒壊等のおそれのある空家等から、市民の暮しの安全・安心を確保する。
手段 (どうするのか)	所有者等に対して空家の管理について必要な措置を講じるよう指導等を行い、空家を放置することの危険性を認識させ改修等適正管理を促し、除却を行う者に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	サ未い:	牛发剂引쯸	判・美韻【PLAN・DO】 ※中度別の取り組みを間深に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度	E別計画	①空家等対策協議会の 開催 ②空家等除却事業費補 助金 ③空家処分事業交付金 ④空家等に対する略式 代執行	①空家等対策協議会の 開催 ②空家等除却事業費補 助金 ③空家処分事業交付金 ④空家等に対する略式 代執行	②空家等除却事業費補 助金	①空家等対策協議会の 開催 ②空家等除却事業費補 助金 ③空家処分事業交付金 ④空家等に対する略式 代執行	①空家等対策協議会の 開催 ②空家等除却事業費補 助金 ③空家処分事業交付金 ④空家等に対する略式 代執行			
台	年度別実績		①空き家等対策協議会 の開催:委員8名 ②空家等院却事業費補 助金:除却8件 ③空家処分事業交付金 :対象なし ④空家等に対する略式 代執行):執行1件	①空家等対策協議会の 開催:委員8名 ②空家等除却事業費補 助金:除却5件 ③空家処分事業交付金 :対象なし ④空家等に対する略式 代執行):0件						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業費	貴(A+B)	10,722	10,425	0	0	0			
事	直接	経費 A	3,503	3,106	0	0	0			
業	直接経	国・県	1,131	750	0	0	0			
費	豊佞社費の財	地方債	0	, and the second	0	0	0			
	源内訳	その他	2,371	2,356	0	0	0			
		一般財源	1	0	0	0	0			
_	人作	牛費 B	7,219		0	0	0			
朏	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00			
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

<u> </u>	+. 貝派で投入することで表記した石町の人ででを及り指除 【FLAN-DO】								
	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		危険である空家を割り出し改善指導を行っていく。	仕	目標	10	10	8	10	10
	1		111	実績	8	5	0	0	0
\-		(指標の説明) 鳥取市空き家等除却事	事業補助	1金の交	付件数				
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要	【DO】 <u>※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)</u> 【問合せ先】建築指導係 0857-20-3282
	【10次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P201(都044)
事務事業の実施概要	【事業の概要・事業の成果】 ①空家等対策協議会の開催(委員8名) (実績)平成27年度:3回 平成28年度:2回 平成29年度:1回 ②補助金名:空家等除却事業費補助金 目的:空家の所有者等に対し、必要な指導又は協力要請を行い、災害を未然に防止するとともに良好な景観及び生活環境の創生に寄与する 内容:倒壊等のおそれのある特定空家等の解体費用に対する補助補助対象者:指導・勧告された空家の所有者等 (実績)平成27年度:9件 平成28年度:8件 平成29年度:5件 ③交付金名:空家解体コーディネート・空家かたづけ隊モデル事業交付金目的:除却を促進し、良好な景観及び生活環境の創生並びに安全で安心な地域づくりに寄与する 内容:家屋を除却する際の家財等の処理補助対象者:所有者等と連携し実施する自治会 (実績)なし
	【今後の課題・方向性】 特定空家等に対しては、指導通知等で適切に管理して頂くよう所有者等へ促し安全で安 心な地域づくりを促進する
c 江新七梅の法代本【OUCOV】	

7. 評価【CHECK】

1

3

指標達成率 2

/. 評価【CHECK】		
評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	空家等除却の補助申請数が6件で予定より4件少なかった。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果 6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 満: 上回る」、「80%~100%未満: 目標とおり」、 「50%~80%未満: 下回る」、「500%未満: 大幅に 下回る」、※最も達成度の低い指標で評価	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり ■ 4. 目標を下回る □ 5. 目標を大幅に下回る	空家等除却の補助申請数6件に対して5件補助。(1件は申請者の辞退によるもの)

平成28年度

80%

平成29年度

50%

平成30年度

平成31年度

平成32年度

8. 4	事業の成果を踏まえた今後の方向性	(ACTION)	ı
------	------------------	----------	---

指標名

危険である空家を割り出し改善指導を行っていく。

	■ 1. 拡充	■ 1-1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
	の保護、生活環境の保全等のためが		衛生等の地域住民の生活環境に	二深刻な影響を	及ぼしており、地域住民の生命、身体、財産

 事務事業コート*
 028000
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 定期借地権付土地分譲制度による地域活性化事業
 所属名
 都市整備部
 建築住宅課

4	#	-	ᆄ	土口

1. 42.7	T'IHTK						
位 総	総 体系区分 コード 名 称				事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成25年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実	生活基盤の充実			
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	根拠計画等	
目施	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 定期借地権付土地分譲制度活用に			る地域活性化質	事業費	予算事業コード	01-02-01-06-02-06

2 事業目的【PI AN】

2. 争未日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	青谷町望町団地(鳥取県住宅供給公社所有)及び鹿野町湯川団地(鳥取市土地開発公社所有)
意図 (どのような状態 にするために)	分譲を促進し、団地内の街なみの形成を促進し、地域活性化を図るため
手段 (どうするのか)	従来の買い取りによる分譲に加えて、定期借地権付分譲制度を導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画		①定期借地権付き土地 分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地	①定期借地権付き土地	①定期借地權付き土地 分譲 ・青谷町望町団地 ・鹿野町湯川団地	①定期借地権付き土地 分譲 •青谷町望町団地 •鹿野町湯川団地
		E別実績	①定期借地権付き土地 分譲 ・青谷町望町団地 1件 ・鹿野町湯川団地 の件	①定期借地権付き土地 分譲 ・青谷町望町団地 1件 ・鹿野町湯川団地 2件			
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	11,697	30,986	0	0	0
事	直接	経費 A	4,478	23,667	0	0	0
業	古拉奴	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
-	源内訳	その他	16	122	0	0	0
		一般財源	4,462	23,545	0	0	0
	人作	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0
融	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
圳以	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	1 3 14/ (臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		定期借地権付土地分譲	区画	目標	2	2	2	2	2		
	1			実績	1	3	0	0	0		
ᇁ		(指標の説明) 青谷町望町団地・鹿野町湯川団地で毎年度各1区画の分譲を目指す。									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
""				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		指標の説明)									

										(うら)
5.	平成	29年度の事務事業実	施概要		企之权		取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
5.	事務事業の実施概要		【 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	施 経概 】団販を 数条受:料策 過要 地売導 (件人51:55:100)	0857-20-3291 系】4201 次:当初予算・ 所有:鳥取県付 績が低迷してい し、分譲の促進	P202(都 E宅供給公社) いることから、 速を図り、団地 「団地17区画 は店舗併用住 にははま物撤去期 去後、土地返過	の45) 及び鹿野町湯新しい分譲制。 内の街なみのう 鹿野湯川団地。 宅 間1年) 環又は購入によ	川団地(所有: 度である「定期 形成促進と地域 27区画 こり無利息で全	: 鳥取市土地 朗借地権付土 或の活性化に	
			報活動を行っ ○分譲実績 【今後の課題 鳥取保住宅 、分譲促進に	供欠・供つ・供の・供の・供の・供の・供の・付の・供の・付の・は、・付の・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、<	28年度 1件 29年度 3件	‡(望町団地) ‡(望町団地1 □地開発公社と □ででする。	、湯川団地2))		
_	江毛	は 一本 一本 一本 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」 「 へ 」	-0K1							
0.	石 男	カ指標の達成率 【CHE	<u>-UK』</u> 指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	定期借地権付土地分譲				50%	150%			
標	-									
達成	2									
率	3									
7.		[CHECK]								
	評価	項目と評価の視点		評価内容			評価理由(計	平価の視点を踏	まえて記入)	
	年	度計画の進捗度		計画を上回る 計画どおり						
当該	年度で	度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。	□ 3.	事業未完了						
		事業の成果		目標を大幅に.	上回る	目標2区画に対	けし、3区画の定	期借地契約に	至った。	
		・ ・ ・ ・ 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3.	目標を上回る 概ね目標どお	IJ					
満:_ 「509	□る」 6~ 80	、「80%~100%未満:目標どおり」、 %未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価		目標を下回る目標を大幅に	下回る					

□ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小 □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 今後の方向性 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 3. 現状維持 ■ 2-1 手段等の改善 □ 5-2 意図的に廃止 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 平成29年度は、定期借地契約3区画の実績となったが、青谷望町団地・鹿野湯川団地とも、まだまだ残区画があり、販売者である鳥取県住宅供給公社、鳥取市土地開発公社と連携協力し、より一層の広報・PR活動に取り組んで行く。 担当課長の評価コメント

(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

 事務事業コート
 028100
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 福祉のまちづくり推進事業
 所属名
 都市整備部 建築指導課

1	其	木	恄	報

1. 42.7	THITK								
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分		
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期		
づ画	政策	02	快適でゆとりある生活球	環境づくり		根拠法令、	バリアフリー法、鳥取県福祉のま		
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	ちづくり条例		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000			
目施			(満足度)(H26年度:45.6%)	0%	50%	事業分類区分	建設、整備		
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	補助金交付		
٥٦				0	0	会計区分	一般会計		
予算	予算事業名 福福	业のまちづく	り推進事業費			予算事業コード	01-07-01-02-02-01		

2. 事業目的【PLAN】

<u> 2. 争未日的</u>	[PLAN]
対象(何を、誰を)	バリアフリー法、及び鳥取県福祉のまちづくり条例による特定建築物。
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者、身障者等を取り巻く様々な障壁を除去し、福祉のまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	改修等を行う事業主に補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> 3.</u>	争表の	年度別計画	・美績 【PLAN・DO】 ※牛度別の取り組みを間深に記入									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
内容	年度	医别計画	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件	①補助金交付件数 5件					
ţr	年度	E別実 績	①補助金交付件数 8件	①補助金交付件数 6件								
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)					
	事業領	貴(A+B)	11,718	15,687	0	0	0					
事	直接	経費 A	8,108	12,027	0	0	0					
業	古拉奴	国∙県	6,075	9,013	0	0	0					
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0					
	源内訳	その他	0	2,500	0	0	0					
		一般財源	2,033		0	0	0					
	人	牛費 B	3,610		0	0	0					
翩	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00					
	_{貝奴の} 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実施件数	件	目標	5	5	5	5	5
	1		117	実績	8	6	0	0	0
٠,-		(指標の説明) 鳥取市福祉のまちづく	り推進事	事業補助	力金を活用して 第	尾施した件数。			
活動				目標	0	0	0	0	0
動	2			実績	0	0	0	0	0
指標		(指標の説明)							
1214				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		-					

	1 /2		拖概要【DO】	次則年度の	収り組みで共体	「リー記入(アカ	事務事業の事	术,似女已是到/		
			【問合せ先】審査	係 0857-20-3281						
			【10次総の施策	体系】4201						
			【予算計上の経過 予算事業別概要	】 目次:当初予算•	P199(都	040)				
				補助金名:福祉のまちづくり推進事業補助金 目的:特定建築物のバリアフリー化を促進し、高齢者、障害者等の住みよいまちづくり						
	事務事業の実施概要		【事業の成果】 平成27年度:	【事業の成果】 平成27年度:2件 平成28年度:8件 平成29年度:6件						
				【今後の課題・方向性】 市民からの相談や要望の状況を的確に把握し、国・県と連携して事業推進に努める。						
			※その他財源の	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。						
<u> </u>										
6.	活重	助指標の達成率 【CHE			- * · · · 1					
		実施件数	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指標	1	7.//E11 9X		160%	120%					
達成	2									
DX.										
率										
率	3									
率	3	面【CHECK】 所項日と証価の組占	証 価 内 宏		≕無田 口/雪	亚研办组占友塾	キラブ記 ス \			
率	3 評価 評価	5項目と評価の視点	評価内容 ■ 1. 計画を上回る	事業の周知等	評価理由 (記 こより、計画を上	平価の視点を踏 :回る件数となっ				
率	3 評価 評価	1項目と評価の視点 1度計画の進捗度	評価内容 ■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	事業の周知等						
李 7.	3 評価 年 乗の句で	西項目と評価の視点 F度計画の進捗度	■ 1. 計画を上回る	事業の周知等						
李 7.	3 評価 年 乗の句で	西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回			:回る件数となっ	かた。			
平 7. 3. 4 1 1 3 1 3 1 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 2 3 2	3 3 評価 年 年 の 9 で 状 が 動 指 権	西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績(PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 Rの達成率 [CHECK]より	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回・ ■ 2. 目標を上回る		こより、計画を上	:回る件数となっ	かた。			
李 7. 3. 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 3 評価 年 ので状	西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 Fの遠成率【CHECK】より :: 大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満:目標とおり」、	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回 ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	る 達成率120%	こより、計画を上	:回る件数となっ	かた。			
平 7. 3. 4 該な 6. 1500 [1500	3 3 評価 年 の度状 指棋 は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	正項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績(PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 『の達成率 [CHECK]より :: 大幅に上回る」、「101%~150%未 、「80%~100%未満: 日標とおり」、 %未満:下回る」、「50%未満: 大幅に	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回 ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり	る 達成率120%	こより、計画を上	:回る件数となっ	かた。			
平 7. 3. 4 該な 6. 1500 [1500	3 3 評価 年 の度状 指棋 は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	西項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO]より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「の達成率【CHECK]より :: 大幅に上回る」、「101%~150%未 、「809%~100%未満: 日標どおり」、 %未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回 ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を下回る	る 達成率120%	こより、計画を上	:回る件数となっ	かた。			
平 7. 3. 事該な 「1500 下回	3 評価年 年 の を 状 が 指 根 と ら い と の と が と は と ら い と か と い と か と い と か と か と か と か と か と	正項目と評価の視点 E度計画の進捗度 F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ Rとなったか。 事業の成果 「R80%を100%未満14機とおり」、 96未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価	■ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を大幅に上回・ ■ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり □ 4. 目標を大幅に下回・ □ 5. 目標を大幅に下回・	る 達成率120%	こより、計画を上	:回る件数となっ	った。			

■ 1-2 制度的に自然増加

□ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 パリアフリーを充実し、高齢者、身障者が生きがいを持ちながら生活できる社会の実現のために継続的に事業を行う必要がある。

□ 2-1 手段等の改善

□ 2-2 効率化、簡素化

□ 2. 改善継続

□ 3. 現状維持

□ 4. 縮小

今後の方向性

担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載) □ 4-2 制度的に自然減少

□ 5-2 意図的に廃止

□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止

 事務事業コート
 028200
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 施設管理業務委託事業
 所属名
 都市整備部 建築住宅課

1	其	木	恄	報

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種別			平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施 世策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	施設管理
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	外部委託
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 施記	设管理業務	委託事業費			予算事業コード	01-07-06-01-02-02

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	市営住宅(大森団地・湖山団地・田島団地・湯所団地)… I 期 市営住宅(徳吉団地)… II 期 市営住宅(旭町団地)…Ⅲ期
意図 (どのような状態 にするために)	修繕受付などについて、迅速かつ適切に対応することで住民サービスの向上を図るため
手段 (どうするのか)	施設管理業務をノウハウを有する民間の賃貸住宅管理会社にモデル的に委託する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	. 争業の年度別計画・美積 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入										
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度別計画 年度別実績		①公営住宅管理 市営 43団地 2,156戸 県営 12団地 237戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,150戸 県営 12団地 237戸		①公営住宅管理 市営 43団地 2,150戸 県営 12団地 237戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,150戸 県営 12団地 237戸				
拉			①公営住宅管理 市営 43団地 2,156戸 県営 13団地 237戸 ≪うち、外部委託によ る効率的管理≫ 計 6団地 1,120戸 ・4団地 392戸 ・1団地 448戸 ・1団地 280戸	①公営住宅管理 市営 43団地 2,150戸 県営 12団地 237戸 ≪うち、外部委託によ る効率的管理≫ 計 6団地 1,120戸 ・4団地 392戸 ・1団地 448戸 ・1団地 280戸							
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業領	貴(A+B)	54,503	43,084	0	0	0				
事	直接	経費 A	50,893	39,424	0	0	0				
業	直接経	国・県	0	0	0	0	0				
費	豊佞社費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	50,893	39,424	0	0	0				
	L.,	一般財源	0	0	0	0	0				
<u> </u>	人们	牛費 B	3,610	3,660	0	0	0				
膱	員数の	正規職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00				
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		管理委託戸数	i	目標	1120	1120	1120	1120	1120		
	1		, .	実績	1120	1120	0	0	0		
,-		指標の説明)市営住宅の施設管理業務を民間へ委託するもの。									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
ly.k				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5	. 平月	戓29年度の事務事業実施概			収り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)		
ĺ			【問合せ先】住宅係	₹ 0857-20-3291						
			【10次総の施策体	□系】4201						
			【予算計上の経過】	予算事業別概要	目次:当初予	算・P202	(都046)			
		事務事業の実施概要	【事業の概要】 本市の市営住宅43団地(2,150戸)に加え、県営住宅12団地(237戸)を作行して管理していることから、住宅施設の管理業務が非常に多くなっており、迅速な対応に支障が生じている。そのため、平成23年度から一部の市営住宅の管理業務について記している。 ○委託契約期間 2ヶ年 ○委託業務内容(主なもの)※24時間365日の緊急対応体制施設管理業務対応(緊急、一般、入居修繕)、施設の法定点検業務、害虫駆除・樹木剪定業務、苦情相談対応業務、定期的巡回点検業務							
		ず切 ポ 木 ツ ヘルロの ユ	することで、より適 ○委託戸数 平成 ○委託団地 湖山 平成27年度 平成28年度	【事業の成果】 市営住宅の管理業務を民間の賃貸住宅管理会社に委託し、民間が有するノウハウを活用することで、より適切な対応を行い、住民サービス向上に寄与する。 ○委託戸数 平成29年度末現在 1,120戸(全体管理戸数の約1/2) ○委託団地 湖山、大森、湯所、田島、徳吉、旭町平成27年度 33,793千円平成28年度 50,893千円平成29年度 39,424千円						
			【今後の課題・方向問題と参課題等を		- 今古禾託への	投 行を組略に	晒灰杂兔 丽地差	ら世上する		
			※その他財源の使	問題点や課題等を検証し将来的に全戸委託への移行を視野に順次対象団地を拡大する。 ※その他財源の使用料は、住宅使用料。 ※その他財源の諸収入は、消火器購入補助金。						
L										
6	. 活動	動指標の達成率 【CHECK 指模		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
ŧ	1	管理委託戸数		100%	100%					
村	F	†		+ +						
万 三	է			+ +						
L	Ĭ	<u> </u>								
		面【CHECK】	ᆕᄺᇠᆏᇼ		=亚/亚明由/影	ᇎᄺᄼᆌᆂᆂᅅ	·┴ニᡒ₴ファ∖			
\vdash		西項目と評価の視点	評価内容 1. 計画を上回る	+	評価埋出(部	平価の視点を踏	まえて記人)			
	4	‡度計画の進捗度 ■	2. 計画どおり							
当	核年度で	年度別計画・実績【PLAN・DO】よりで予定した事業が3月末時点でどのよい況となったか。	3. 事業未完了							
Γ ₁ 満 Γ ₅	50%以」 : 上回る: 0%~ 80	事 果 の 放 果 標の達成率 【CHECK】より 上: 大幅に上回る」、「101%~150%未 」、「80%~100%未満: 目標どおり」、 の84ま海: 下記入」「50%キ海: 大幅[1. 目標を大幅に上回る 2. 目標を上回る 3. 概ね目標どおり 4. 目標を下回る 5. 目標を大幅に下回る							
8	. 事:	業の成果を踏まえた今後の	方向性【ACTION】							
Γ			1. 拡充] 1-1 意図的] 1-2 制度的		□ 4-1 意	図的に縮小 度的に自然減少			
		今後の方向性 □	3. 現状維持 4. 縮小 □	■ 2-1 手段等(] 2-2 効率化。	の改善 、簡素化	□ 5-1 臨 ⁴ □ 5-2 意	年実施等、意図 図的に廃止			
F		問題	5. 休止、廃止、終了 通点や課題等を検証し、将来的に全] 2-3 他事業。 全戸委託への移行を視野		□ 5−3 制度 は大する。	度的に終了			
1	「今後 つかる。	当課長の評価コメント の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的 と、今後の改善プランを記載)								

 事務事業コート*
 028300
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 市営住宅ストック総合改善事業
 所属名
 都市整備部 建築住宅課

	-			
1	#	+	桂	恕

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成27年度 ~ 平成30年度
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施 無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				0	0	会計区分	一般会計
予算 予算事業名 吉成団地ストック総合改善事業						予算事業コード	01-07-06-02-15-08

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 吉成団地

 意図 (どのような状態 にするために)
 老朽化した市営住宅入居者の居住の安定を図るため

 手段 (どうするのか)
 住戸改善 (バリアフリー化や住戸面積の改善)を実施

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	争表の	<u> 平 </u>	・美績 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度別計画 年度別実績		住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟実施設計	住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟改善工事	住宅リフォーム ①吉成A棟改善工事					
在			住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟実施設計	住宅リフォーム ①吉成B棟改善工事 ②吉成A棟改善工事						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業引	費(A+B)	86,354	194,374	0	0	0			
事	直接	経費 A	79,135	187,055	0	0	0			
業	古拉奴	国∙県	44,244	87,885	0	0	0			
費	直接経 費の財	地方債	34,600	97,700	0	0	0			
	源内訳	その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	291	1,470	0	0	0			
	人	牛費 B	7,219		0	0	0			
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00			
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		改善工事の実施	棟	目標	1	2	1	0	0		
	1		1宋	実績	1	2	0	0	0		
\-		指標の説明)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動 指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
1214				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

<u>э.</u>	平成29年度の事務事業実施				取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
		【問合せ	t 先 】 住宅係	0857-20-3291				
		【10世	穴総の施策体	系】4201				
			十上の経過】 事業別概要目	次:当初予算・	P204(都	049)		
 宅にリフォームするる ○事業期間 平成: 中層耐火構造4 平成27年度 1 平成28年度 1 平成29年度 1 平成30年度 2 【事業の成果】 								
6.	活動指標の達成率 【CHEO			「元子20左座	- 元十00左左	一元 产 20 左 庄		「元子の左座
Н	改善工事の実施	旨標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	1			100%	100%			
達	2							
成 率	3							
Ш								
	評価【CHECK】	==:/=:-	5 m		== /= == + /=	···	+:-=:::	
i	評価項目と評価の視点	評価。 ロ 1. 計画をよ	• •		評価埋田(計	平価の視点を踏	まえて記人)	
	平及計画の進捗及	■ 2. 計画どま	34					
当該年	業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 年度で予定した事業が3月末時点でどのよ 捗状況となったか。	□ 3. 事業未完	是 了					
	事 事 () by 学	□ 1. 目標を大						
6 Œ		□ 2. 目標を上						
「1509 満:上	%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、	■ 3. 概ね目棋 □ 4. 目標を下						
Г50%		□ 5. 目標を大						
8. 3	事業の成果を踏まえた今後	の方向性【AG	CTION]					
		□ 1. 拡充		1-1 意図的		□ 4-1 意		
		□ 2. 改善継約 □ 3. 現状維持		1-2 制度的 2-1 手段等			度的に自然減少 F実施等、意図	
		□ 4. 縮小		2-2 効率化		□ 5-2 意	図的に廃止	#1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 = 1/4 =
_		■ 5. 休止、廃 F成30年度で事業		2-3 他事業	との統合	■ 5-3 制原	度的に終了	
-	担当課長の評価コメント は後の方向性」を判断した理由が	-,以30十及〔	元子子是。					
わか	いるよう、数値等を用いた具体的 は果と、今後の改善プランを記載)							
な 扱	、木と、フ俊の以音ノブンを記載/							

 事務事業コート
 028400
 重点施策
 該当なし
 平成29年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 公営住宅等長寿命化対策事業
 所属名
 都市整備部 建築住宅課

1	其:	木	恄	報

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり			根拠法令、	
17 O	施策	4201	生活基盤の充実			根拠法市、根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目 無策	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)(H26年度:45.6%)			0%	50%	事業分類区分	建設、整備
標の	公共下水道普及率			77.2人	78.5人	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予質	予算 予算事業名 公営住宅等長寿命化対策費					予算事業コード	01-07-06-02-16-01

2. 事業目的【PLAN】

<u> </u>	
対象 (何を、誰を)	本市管理の市営住宅
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化の進んだ市営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を実現するため
手段 (どうするのか)	鳥取市営住宅長寿命化計画に則した改修等工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	争未の	<u> </u>	・美績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間潔に記入								
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度別計画 年度別実績		①下味野団地B棟外壁 改修工事 ②徳吉団地R17~1 9棟下水道接続工事・ 浄化槽解体工事	①下味野団地B棟外壁 改修工事 ②国安団地外壁改修工 事	《平成29年度で事業完 了≫	≪平成29年度で事業完 了≫	≪平成29年度で事業完 了≫				
12			①下味野団地B棟外壁 改修工事 ②徳吉団地R17~1 9棟下水道接続工事・ 浄化槽解体工事	①下味野団地B棟外壁 改修工事 ②国安団地外壁改修工 事							
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業領	貴(A+B)	28,143	30,031	0	0	0				
事	直接	経費 A	20,924	22,712	0	0	0				
業	±+± 4 7	国∙県	16,482	11,356	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	2,300	11,300	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
		一般財源	2,142		0	0	0				
	人	牛費 B	7,219	7,319	0	0	0				
膱	員数の	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00				
	内訳 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	1	下味野B・国安団地外壁改修工事、徳吉団地R17~ 19棟下水道接続・浄化槽解体工事	団地 …	目標	2	2	0	0	0
				実績	2	2	0	0	0
`~		(指標の説明) 長寿命化計画に則した対象団地の工事実施							
活動指標	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
IN	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•	•	•	

5.	半月	729年度の事務事業実		_			取り組みを具体	H 31 - HB7 1 () 31		水陽久已之初
				問合せ先】住宅	它係	0857-20-3291				
			【10次総の施策体系】4201							
				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 2 0 5 (都 0 5 2)						
	事務事業の実施概要		8 化 化	00戸を超える	るなと し、平	ご老朽化が進ん 区成27年度に	ンでいたため、 こは策定から5	平成23年3	住宅が平成22 月に「鳥取市営 ことから計画り	住宅長寿命
				平成28年度	2 (924千円	徳吉団地R下味野B団下味野B団		下水道接続工事 E)外壁改修工	
			- ;	【今後の課題・方向性】 長寿命化計画に則した事業展開を行い、老朽化した市営住宅ストックの効率的かつ円滑 な更新の実現とストックの長寿化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげる。						
_										
6.	活重	助指標の達成率 【CHE				亚世00年由	亚代00年度	亚世20年度	亚世31年由	亚世20年由
-	指標名 「味野B・国安団地外壁改修工事、徳吉団地R17~19棟下水道接			売・浄	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標	1	1 化槽解体工事			100%	100%				
達	2									
成率	3									
_	== /=									
		5【CHECK】 5項目と評価の視点 ┃		評価内容			評価理由(意	平価の視占を踏	主えて記入)	
	口 1 計画を上回る			評価理由(評価の視点を踏まえて記入)						
	年度計画の進捗度 ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了									
当該	年度で	F度別計画・実績【PLAN・DO】より 予定した事業が3月末時点でどのよ 兄となったか。	⊔ 3. ‡ :	未不尤」						
	事業の成果 □ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る □ 3. 概ね目標どおり									
満:上	13096以上: 八幅に上回る」、110196~13096末 満: 上回る」、「8096~10096未満: 目標どおり」、 5096~8096未満: 下回る」、「5096未満: 土幅に 5096~8096未満: 下回る」、「5096未満: 土幅に									
. 509				50%~ 80%未満: 下回る]、150%未満: 大幅に 下回る] ※最も達成度の低い指標で評価						
	6 ∼ 80'	%未満:下回る」、「50%未満:大幅に		標を大幅に下回	10 1					
	6 ∼ 80'	%未満:下回る」、「50%未満:大幅に		標を大幅に下回	୩୬					
下回	6~ 80º る」※	%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 5. 目 [;] 後の方向性	[ACTION]						
下回	6~ 80º る」※	%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5.目i <u>後の方向性</u> □ 1.拡	:【ACTION】 充		1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意		,
下回	6~ 80º る」※	%未満: 下回る」、「50%未満: 大幅に 最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目 [;] 後の方向性	:【ACTION】 充 善継続		1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に自然増加	□ 4-2 制原	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図	
下回	6~ 80º る」※	%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 最も達成度の低い指標で評価 等の成果を踏まえた今後	□ 5.目 ②の方向性 □ 1.改 □ 2.改 □ 3.現 □ 4.縮	E【ACTION】 充 善継続 状維持 小		1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化	に自然増加 の改善 、簡素化	□ 4-2 制度 ■ 5-1 臨 □ 5-2 意図	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	
8.	6~80%	%未満:下回る」、「50%未満大幅に 最も達成度の低い指標で評価 美の成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 5. 目 を の方向性 □ 1. 拡改 □ 3. 現縮 ■ 5. 休 長寿命化計画	·【ACTION】 充 善継続 状維持 小 止、廃止、終了		1-2 制度的 2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-2 制版 ■ 5-1 臨 □ 5-2 意 □ 5-3 制版	度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止	的に休止